

会津若松市中心市街地魅力向上調査事業
（中心市街地魅力発掘事業）
調査報告書

平成 2 6 年 3 月

株式会社 まちづくり会津

【目 次】

I	調査の概要	5
II	結論	6
III	調査の結果	7
III - 1	「会津若松市の魅力向上に関するアンケート調査」の結果	7
■	回答者の属性	7
1	性別について	7
2	回答者の年齢分布	7
3	居住地及び地区別回収率	8
■	会津若松市のまちなかについて	8
1	重点的に整備すべきエリアはどこだと思いますか	8
2	どのような機能や施設の整備を期待しますか	9
■	会津の魅力についてお伺いします	9
3	会津が日本五大仏都に数えられることをご存じですか	9
4	神社・仏閣を新たなまちづくりに活かすべきだと思いますか	10
5	まちなかで魅力を感じる神社仏閣があれば、具体的に教えてください	10
■	七日町の認識についてお伺いします	10
6	1年間の中でどのくらいの頻度で七日町エリアに行きましたか	10
7	七日町を訪れる主な目的は何ですか	11
8	七日町への主な交通手段は何ですか	11
9	七日町の魅力だと感じるものは何ですか	11
10	七日町の課題点や問題点だと感じるものは何ですか	12
■	おおむね5年前と比較した、現在の七日町の評価についてお伺いします	12
11	景観（まちなみ）の整備による七日町の印象の変化について	12
12	にぎわい・活気づくりのための商店街の店舗構成の変化について	13
12-2	「悪くなった」具体的な理由を教えてください	13
13	七日町の取り組みは会津若松市のまちなか活性化に貢献していると思いますか	13
■	七日町の将来像や今後の方針についてお伺いします	14
14	「七日町の門前まちづくり構想」についてどのように思いますか	14
14-2	具体的なアイデア・意見があれば教えてください	14
15	七日町の整備事業においてどのようなものを重要視すべきだと思いますか	15
15	七日町の整備事業で重要視するものへの具体的なアイデア	15
16	七日町エリアの整備事業において対象エリアを拡大すべきだと思いますか	16
17	七日町エリアのまちづくりについての意見（自由回答）	16
III - 2	来街者（観光客）調査の結果	20
■	調査にあたって	20
■	属性	20
1	どこから来たか	20

2	性別	21
3	年齢について	21
■	旅行全般について	22
4	会津への訪問回数	22
5	誰と来たか	22
6-1	交通手段	23
6-2	訪問先・訪問予定地	23
7	滞在日数	24
8	宿泊先	24
9	旅行全体の予算	25
10-1	お土産を買う相手	25
10-2	購入したお土産	26
11	会津で食べたいもの	26
12	観光案内・情報サービスの満足度	27
■	七日町について	27
13	七日町を訪問地に選んだ理由	27
14	七日町への訪問目的	28
15	七日町での滞在時間	28
16	七日町の満足度	29
17	七日町の魅力	29
18	七日町の課題点	30
19	七日町の門前町まちづくり構想	30
20	魅力的なまちにするために重要視するもの	31
■	その他	31
21	また七日町を訪問したいですか	31
22	七日町を友人に紹介したいですか	32
23	自由回答	32
Ⅲ-3	商店街ニーズ調査	33
■	属性	33
1	業種	33
2	営業年数	33
3	経営者の年齢層	34
4	土地・建物の所有関係	34
5	売り上げの内訳（地元利用者と観光客利用者の割合）	34
6	売上高の推移	35
7	業績の維持・向上に向けて、個店として努力していること	35
8	現在地における今後の事業継続の意向確認	36
9	七日町まちなみ通り協議会の会員かどうか	36
10-1	協議会の活動の理解度について（会員のみ）	37

10-2 協議会への要望（会員のみ）	37
■ 七日町の取り組みへの評価	38
11 会津若松市による景観条例に基づく、まちなみ協定の締結	38
12 大正浪漫調テーマとしての建物修景事業について	38
13 神社仏閣を巡る「幸せ回廊」事業について	39
14 七日町アンテナショップ「駅カフェ」について	39
15 大正浪漫デッキの設置について	39
16 空き店舗対策について	40
17 各種イベントについて	40
■ 七日町の現状	41
18 七日町の課題・問題点	41
19 七日町通りを一方通行にすべきか	41
20 七日町の渋滞解消にむけて、中合跡地を活かして道路拡幅すべき	42
■ 門前町まちづくり構想	42
21 七日町の目指すべき方向性として、門前町まちづくり構想はどうか	42
22 整備してほしいエリアや方法について、具体的に教えて欲しい	43
23 商店街の振興策へ協力したいと思いますか	43
24 自由意見欄	43
IV 資料編	45
会津若松市の中心市街地	45
1 会津若松市の魅力向上に関するアンケート調査	46
2 観光客向けヒアリングシート	53
3 事業者向けヒアリングシート	59

I 調査の概要

1 調査の目的

会津若松市の中心市街地活性化基本計画の策定にあたって、十分に活用されていない歴史資源である中心市街地周辺の神社仏閣を活用し、沿道の連続性と奥行きが感じられる魅力的なまち「門前町まちづくり」について検討を進めている。

そこで、門前町まちづくり構想の具体化、更には実現に向けて、七日町をはじめとする中心市街地の現状の課題、求められる商業・サービス機能や魅力的な空間整備の在り方について、まちを訪れる市民・観光客や事業者の意識・意向を把握することを目的とする。

2 調査の対象

- ①会津若松市民
- ②来街者（観光客）
- ③商店街の事業主及び責任者

の3種類に分け設問を作成し、それぞれを調査対象とした。

3 調査の方法

- ①会津若松市民

会津若松市内の3,000世帯を無作為に抽出しポスティングにより配布し、回答のあったアンケートは郵送で回収した。

- ②来街者（観光客）

七日町通り観光案内所周辺で観光客に直接聞き取り調査を実施した。

- ③商店街

七日町通り商店街の各店舗経営者等に対し各事業所内で直接聞き取り調査を実施した。

4 調査実施期間

平成25年9月5日から平成25年12月20日

5 回答数

- ①会津若松市民

配布数3,000件のうち701件の回答があった。（回収率23%）

- ②来街者（観光客）

177人の観光客が調査に応じ、調査員に直接回答した。

- ③商店街

該当する61の事業所が調査に応じ、調査員に直接回答した。

Ⅱ 結論

本件の調査目的である会津若松市内の中心市街地での「門前町まちづくり構想」の実現について①市民アンケートでは設問１４、②来街者（観光客）からの聞き取りでは設問１９、③商店街ニーズ調査では設問２１に質問項目を設けた。回答内容は次のとおりになる。

① 市民アンケートの回答結果（全体件数７０１件）

表1

選択肢	件数	
①良いと思う	650	93%
②悪いと思う	51	7%

② 来街者（観光客）からの聞き取りによる回答結果（全体件数１７７件）

表2

選択肢	件数	割合
いいと思う	122	69%
悪いと思う	1	1%
わからない	52	29%
その他	2	1%

③ 商店街事業主調査の回答結果（全体件数６１件）

表3

選択肢	件数	割合
良いと思う	55	90%
良いと思わない	6	10%

Ⅲ調査の結果に詳細な調査内容を記載しているが、上記①、②、③のとおり、会津若松市の中心市街地における「門前町まちづくり構想」の実現について、市民をはじめ、商店街の事業主から「良いと思う」回答が９０％以上あり、同構想への支持が得られた結果となった。また、来街者（観光客）からも７０％近くの賛成が得られた。

以上の結果から、中心市街地活性化の新たな手法として、『門前町まちづくり構想』の取り組みを推進することが望ましいと結論付けるものである。

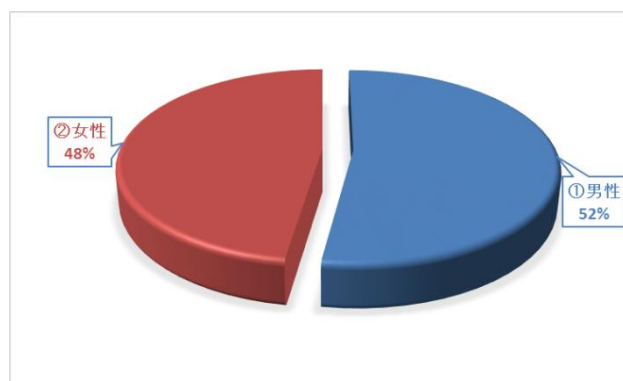
Ⅲ 調査の結果

Ⅲ - 1 「会津若松市の魅力向上に関するアンケート調査」の結果

回答者の属性

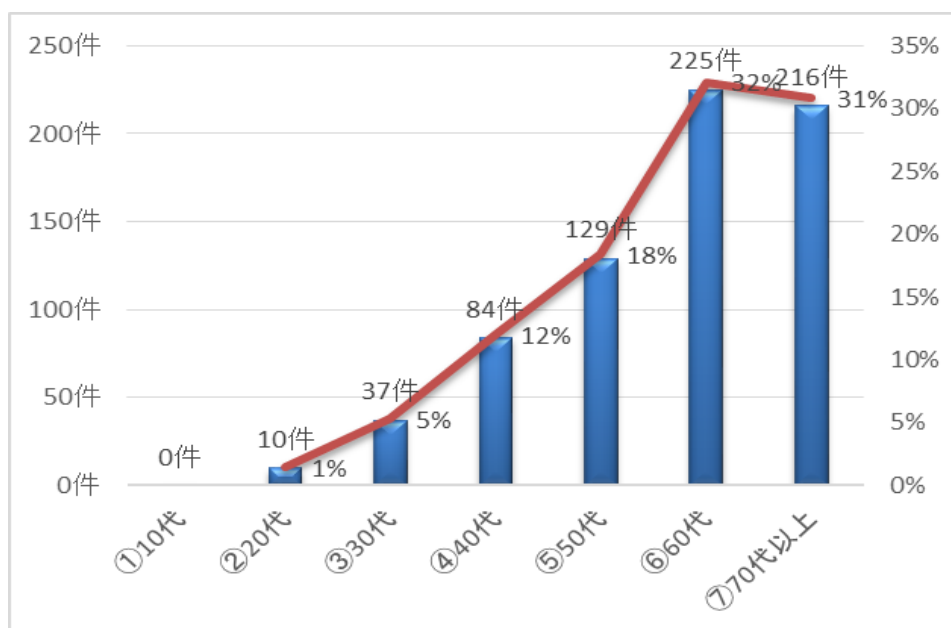
■ 性別について

世帯ごとに配布したが、男女ほぼ同率の回答となり、それぞれの立場や価値観の違い等、広範囲な内容が得られた結果となった。



■ 回答者の年齢分布

世帯ごとに配布した結果、世帯主等と思われる人が回答したと思われるもので、701件中、10代の回答は全くなかった。20代、30代の回答率も低く、40代から70代の世代の割合が大多数を占める結果となった。



■ 居住地及び地区別回収率（主に学区を中心に 17 の地区にわけて算出した）

中心市街地地区をはじめ、同じ町内でも学区が複雑に入り組む東山、神指、小金井地区や市街地から離れた大戸、湊地区、北会津、河東地区と概ね万遍なく各地区からの回答が得られた結果となった。

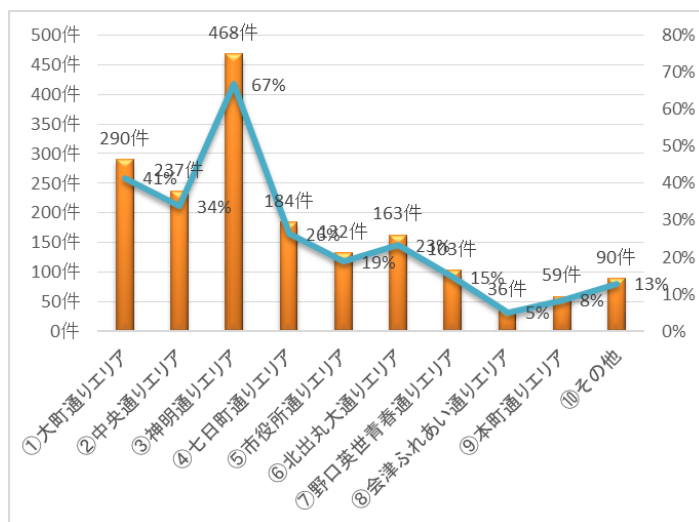
	回答数	配布数	回収率
行仁	19件	200	10%
謹教	91件	300	30%
城北	57件	250	23%
日新	54件	300	18%
城西	64件	250	26%
城南	18件	300	6%
神指	24件	50	48%
鶴城	85件	200	43%
東山	38件	50	76%
一箕	68件	300	23%
松長	16件	50	32%
小金井	23件	50	46%
門田	51件	200	26%
湊	11件	50	22%
大戸	20件	50	40%
北会津	21件	50	42%
河東	15件	150	10%
無回答	26件	200	13%
合計	701件	3000	23%
平均	39件	167	23%

■ 会津若松市のまちなかについて

1 会津若松市のまちなか活性化（報告書では47ページの地図の赤線内）において、重点的に整備すべきエリアはどこだと思いますか？<3つまで○印>

「神明通り」が468件（67%）と圧倒的に多く、次いで「大町通り」、「中央通り」、「七日町通り」、「北出丸大通り」という順だった。

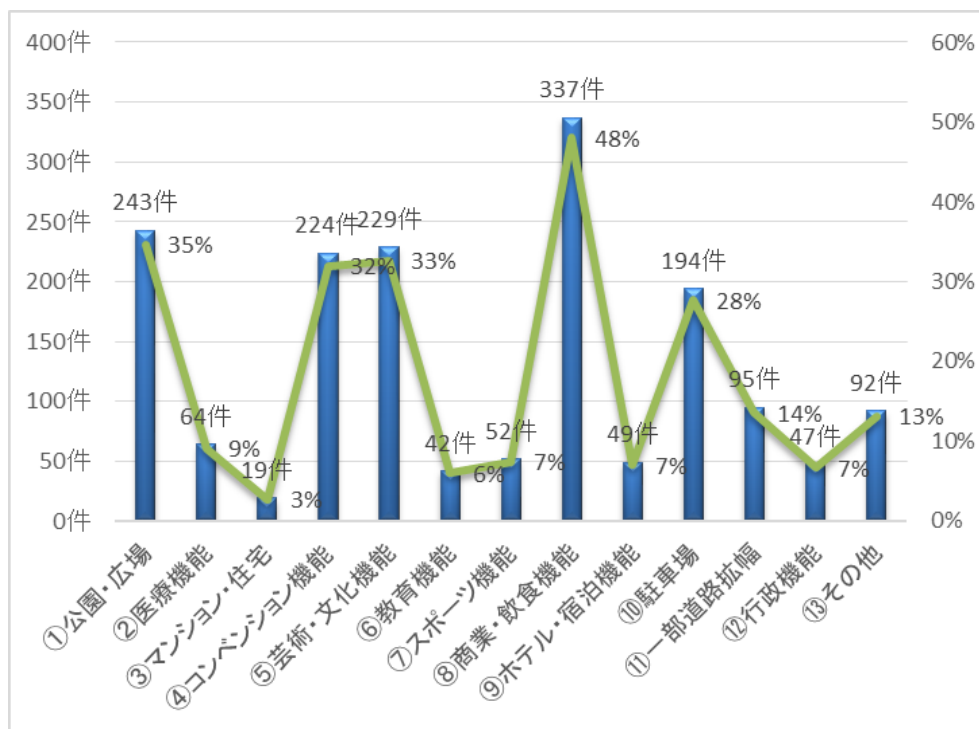
その他の90件は「会津若松駅周辺整備」が31件、「鶴ヶ城周辺整備」が15件、「飯盛山周辺」が5件、その以外の回答では「中合跡地」「西若松駅周辺」のほか、「道路舗装の整備」といったインフラ整備への指摘もあった。



2 会津若松市のまちなか（中合跡地も含む）について、どのような機能や施設の整備を期待しますか？＜3 つまで○印＞

「商業・飲食機能」が337件（48%）と最も多く、次いで「公園・広場」が243件（35%）、「芸術・文化機能」が229件（33%）、「コンベンション機能」が224件（32%）、「駐車場整備」が194件（28%）と上位を占めていた。

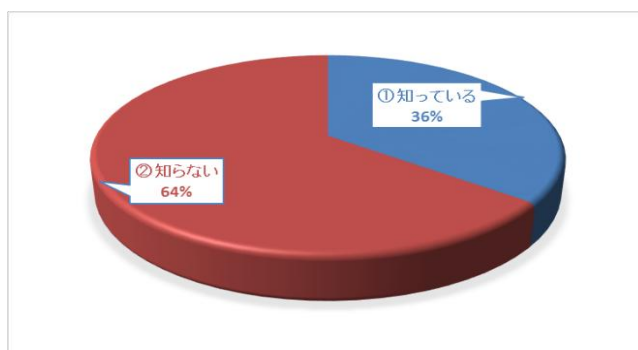
その他の92件には「デパート、ショッピングセンターの充実」が37件、「映画館の新設」が21件、「介護施設」「レジャー施設」などの回答もあり、「商業・飲食機能」に加えると、全体の50%を超えるもので、更なる商店街の魅力アップが求められる結果となった。



■ 会津の魅力についてお伺いします。

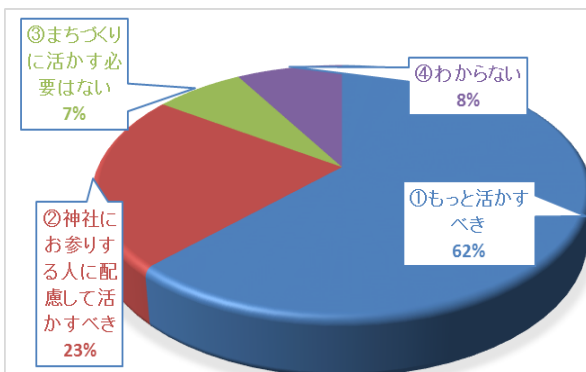
3 会津は、京都・奈良・鎌倉・平泉と並んで日本五大仏都の1つに数えられるということをご存知ですか？＜1 つに○印＞

全員から回答があり、市民の認識はグラフの通り、「知っている」が36%と、会津が日本五大仏都の1つだという認知度はまだまだ低い結果ではあったが、会津全体が「門前町まちづくり構想」のもとに一つになり、全国に誇れる仏都の魅力を発信する必要性を秘めていると思われる。



4 会津には、平安初期に創建の寺や仏像が数多く残っていますが、そのような神社仏閣を新たなまちづくりに活かすべきだと思いますか？＜1つに○印＞

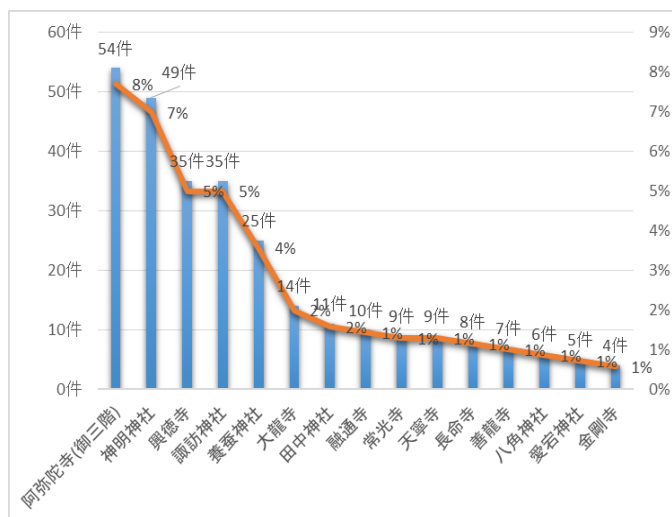
設問3では、会津が日本五大仏都の1つだという認知度はまだまだ低い結果ではあったが、「もっと活かすべき」と「神社にお参りする人に配慮し活かすべき」を合わせると85パーセントあり、神社仏閣による「新たなまちづくり」に活かすべきだと、市民からも歓迎される結果となった。



5 会津若松市のまちなか（※図1参照）で、魅力を感じる神社仏閣があれば、具体的に教えてください。＜いくつでも＞

自由回答だったため回答件数は282件（全体の40%）と低い回答ではあったが、御三階を含めると阿弥陀寺が54件で一番多く、次いで神明神社、興徳寺、諏訪神社、蚕養神社と続いた。

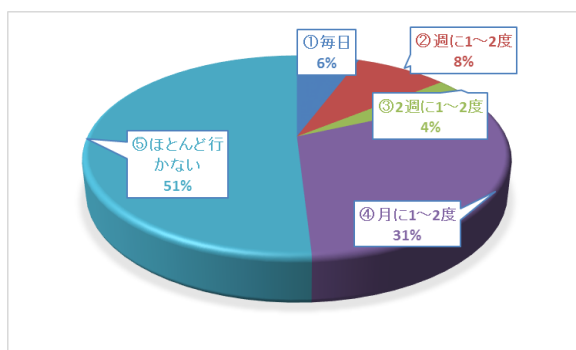
また、大龍寺は、大河ドラマ「八重の桜」の主人公新島（旧姓山本）八重先祖代々のお墓があり、全国に紹介され有名になったため、上位に回答された結果となった。



■ 七日町の認識についてお伺いします。

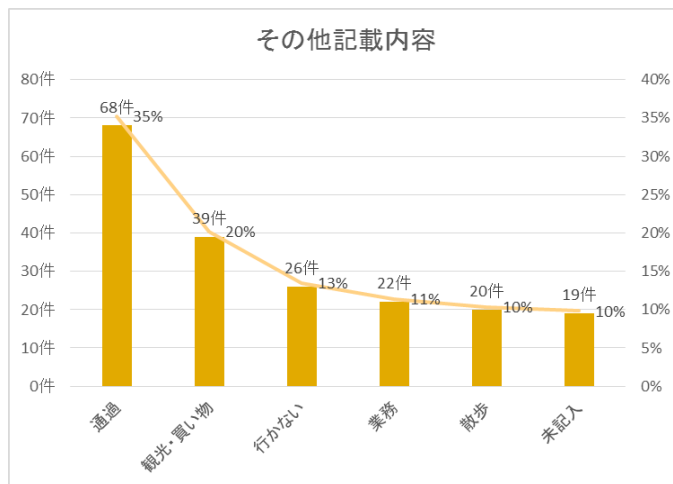
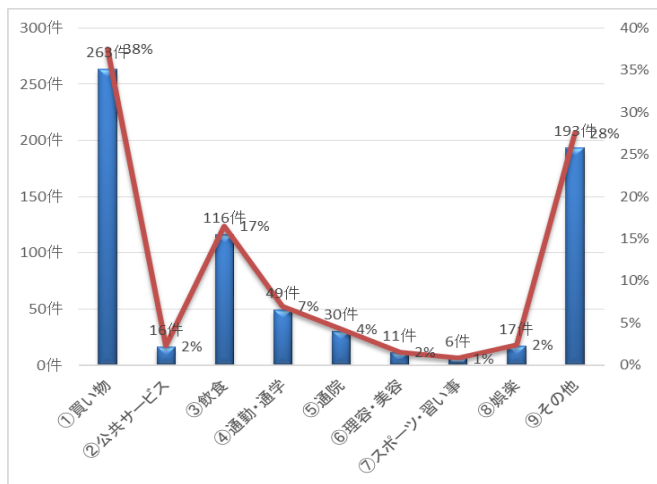
6 この1年間の中で、どのくらいの頻度で七日町エリアへ行きましたか？＜1つに○印＞

七日町通りを訪れる市民と行かない市民との割合は、ほぼ50%という回答結果だった。



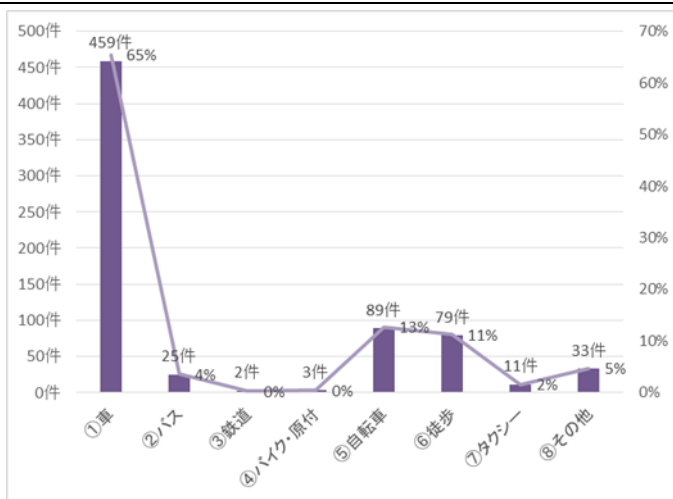
7 七日町を訪れる主な目的は何ですか？＜1 つに○印＞

買い物が263件と最も多く、次いで、飲食、通勤・通学が続く。その他が193件を占めており、内容詳細はグラフ記載のとおりで、35%の方が「通過のみ」の回答であった。



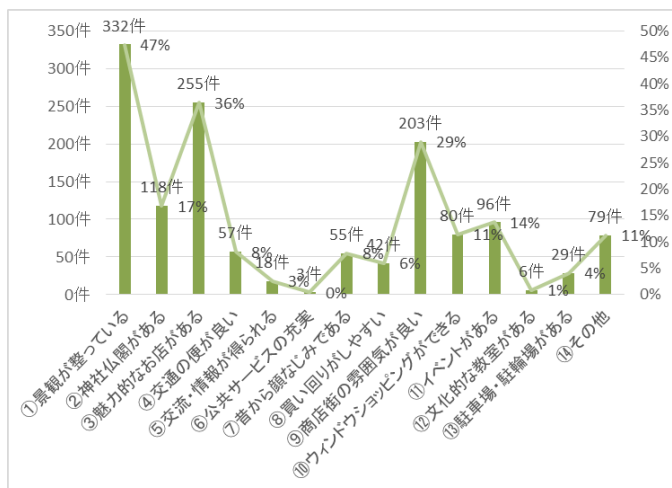
8 七日町への主な交通手段は何ですか？＜1 つに○印＞

車が459件（65%）と最も多く、自転車、徒歩と続く。



9 七日町の魅力だと感じるものは何ですか？＜3 つまで○印＞

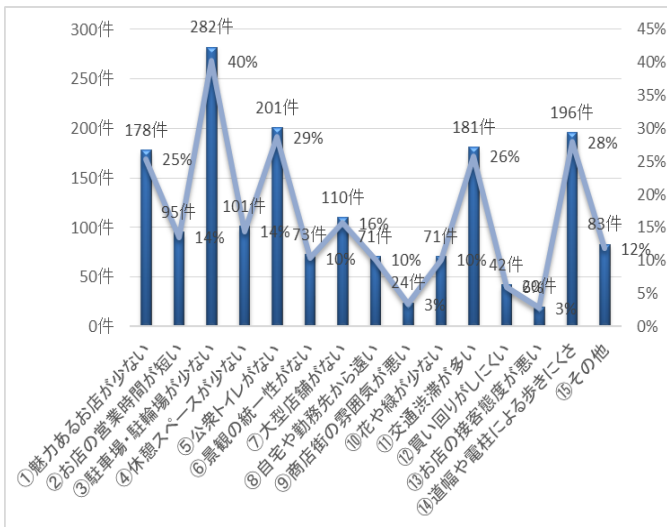
「景観が整っている」が332件（47%）と最も多く、「魅力的なお店がある」、「商店街の雰囲気が良い」がそれに続く。



10 七日町の課題点や問題点だと感じるものは何ですか？<3つまで〇印>

「駐車場・駐輪場が少ない」が282件（40%）と最も多い。次いで、「公衆トイレがない」、「道幅や電柱による歩きにくさ」「交通渋滞が多い」を指摘する回答が多い。その他が12パーセント83件あり、主な回答を抜粋すると次の通り。

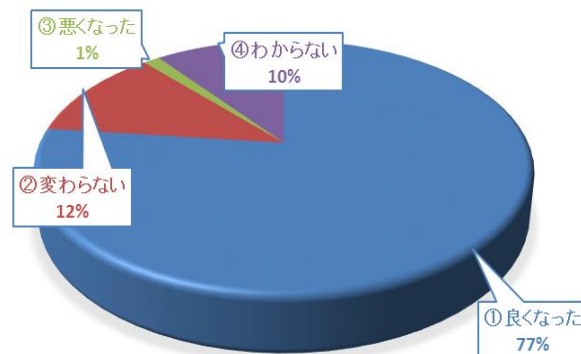
1. 建物の色（柱、カベ色）を統一すべき。
2. バリアフリーの公衆トイレ（車イス用）の設置。
3. たくさんのお店を楽しみ買い物も楽になるよう駐車・駐輪スペースから使えるかわいいカートのものがあるといい。各店にも荷物を入れたままカートをおけるスペースがあると買い回しがよくなります。
4. 無料駐車場の設置。せめて2時間は無料にする。
5. 中高年の女性向け洋品専門店が欲しい。
6. 車の往来が激しいが歩道が狭いので歩行者に優しくない。道路の整備が必要だ。
7. 街の核となるホール（展示場や演劇、音楽、演芸が出来るところ）がない。街が一部に偏り広がりがない。
8. 観光地なのに年末年始お休みの店が多い。
9. 一カ所の駐車場に止め、どこで買い物してもサービス券（駐車券）がもらえると良い。
現状では駐車場のわからないお店がたくさんある
10. 会津特有なのか接客で「愛想がよくない」という指摘が観光客からあった。
11. 土日祝祭日でも閉店しているところが多い。



■ おおむね5年前と比較した、現在の七日町の評価についてお伺いします。

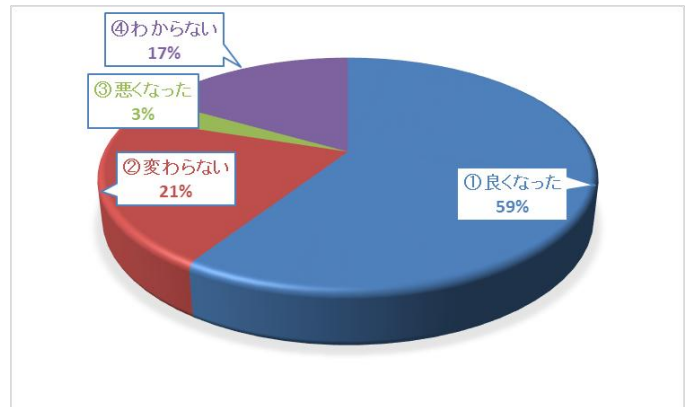
11 景観（まちなみ）の整備による七日町の印象の変化について、どのように感じていますか？<1つに〇印>

「良くなった」という回答が8割近くあり、景観整備は市民から評価されていることがわかる。



12 にぎわい・活気づくりのための商店街の店舗構成（お店の充実度）の変化について、どのように感じていますか？＜1つに○印＞

「良くなった」という回答が6割近くあり、市民からは評価されている。



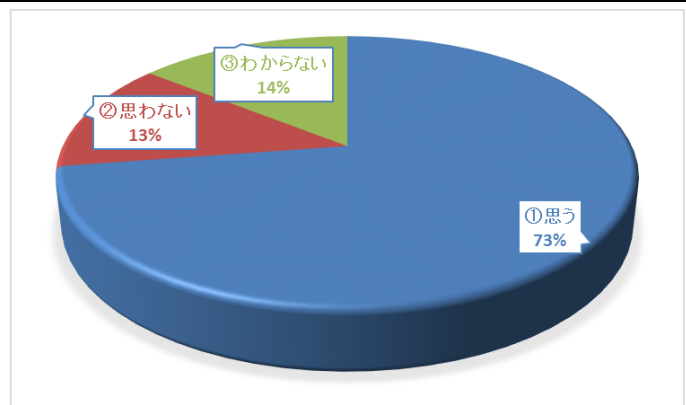
12-2 ③悪くなった”と答えた方へ質問です。具体的な理由を教えてください。

質問内容と著しく異なる回答（「中合閉店で不便になった」など）は省き抜粋した。

1. 色々な商店が並んでいるが、一軒一軒が個立した感じが。商店街らしく店から店へ連携する飾りつけなどは、以前より悪くなったと思う。
2. 町並み造りがまだまだ。中途半端な街並の景観になってしまい悪くなった。整備を進め高山の町並みのように景観もまとまって欲しい。もっと本物のお店、小物の手作り品店、骨董屋などもう少し見応えのある楽しい店が増えて欲しいと考えています。
3. 昔と比べ、コンビニ以外日常生活からかけ離れたお店ばかりになり、近隣住民は気軽に入れないので悪くなった。市民あつての修景改善を。
4. 特定の箇所だけが整備され中途半端な街づくりになり悪くなった。整備を速めて川越や倉敷のようにしないと逆にイメージダウンだ。
5. 街並協定や景観条例にしばられて以前よりも個性的な店舗が少なくなった。
6. 綺麗になりすぎて素朴さがなくなったような感じがする。

13 七日町の取り組みは、会津若松市のまちなか活性化に貢献していると思いますか？＜1つに○印＞

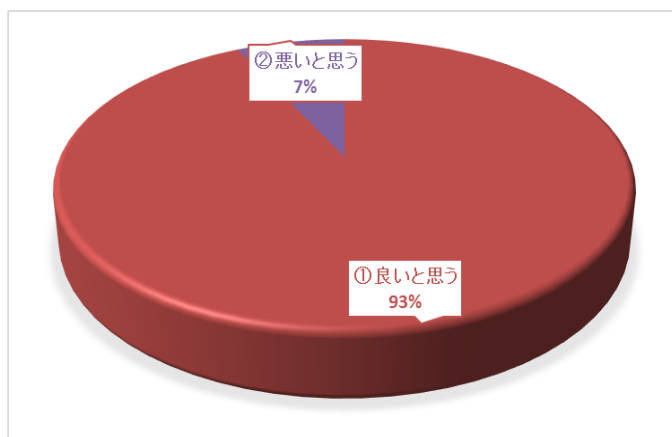
7割以上の市民が「思う」と回答しており、市民から評価されている。



■ 七日町の将来像や今後の方針について伺います。

1 4 “七日町の門前町まちづくり構想”についてどのように思いますか？<1 つに○印>

701人中650人（93％）の市民の方が「良いと思う」と回答し、市民から高く評価された結果となった。



1 4－2 1 4で「②悪いと思う」と答えた方に質問です。具体的なアイデア・意見があれば教えてください。

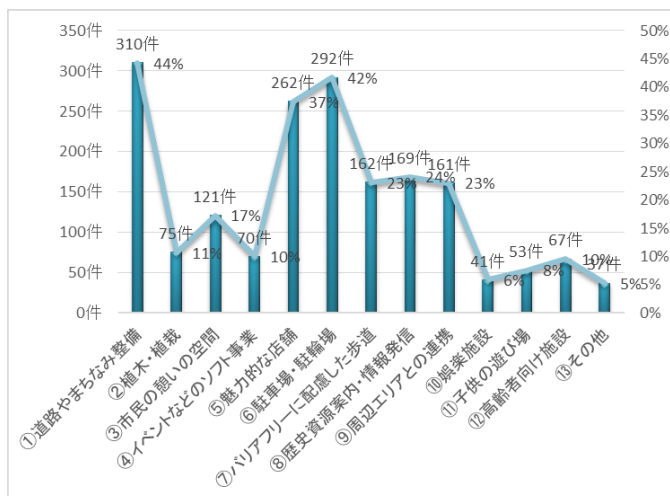
重複する内容、設問と全く異なる回答などは除き、抜粋した。

1. 計画・予想図等具体的な説明がないと答えようがない。
2. 門前町よりも「会津ソバ通り」とし、大阪の串カツ屋のように「そば」に限定した店舗のみ100メートルぐらいずらりと並べ活気をもたせる。
3. 歩道が狭い。十分に拡幅するか車道をなくしてから賑わいを創出しないと観光客や歩行者が危険で歩けなくなり企画倒れになる。
4. 神社仏閣巡りだけでは街は活性化しない。周辺の整備もしっかりやってほしい。
5. 他地域との連携が不明だと全市での協力は難しいのではないかな。
6. 七日町の「まちづくり」にお金を使うならもっと他に使うべき。
7. 大正浪漫の街づくりと整合性がない。
8. 七日町だけに力点をおいても市民は喜ばないし、理解されないと思う。
9. 門前町だけでは人はリピートしないのではないかな。門前で毎週末イベントを開催するぐらいの賑わいが欲しい。たとえば、地産野菜の直売、フリーマーケット、漆器直売やせと市、地酒飲み比べなどを他市町村とも協力して継続させていく。
10. 門前町よりも空き店舗をなくし両側に大内宿のような建物が続く街並みがいいと思う。
11. 宗教施設への公金補助は無理でしょう。文化遺産は寺社管理者が行っていけばよい。
12. 該当地のみの寺社だけでは他地域の恵日寺、福満虚空蔵尊圓蔵寺、鳥追観音如法寺などに比べて見劣りする。
13. 寺社頼みよりも人情を中心とする街づくりの方が観光客が来ると思う。
14. 歴史的資源と称する文化財は、大正、昭和初期をイメージする七日町のまちづくり構想から外れている景観ではないのか。
15. 門前町と言われるほど魅力がある地域とは思えずそこに税金を投入するのはどうか。

15 七日町の整備事業において、どのようなものを重要視すべきだと思いますか？<3つまで○印>

「道路やまちなみ整備」が310件（44%）と最も多く、「駐車場・駐輪場」、「魅力的な店舗」と続く。

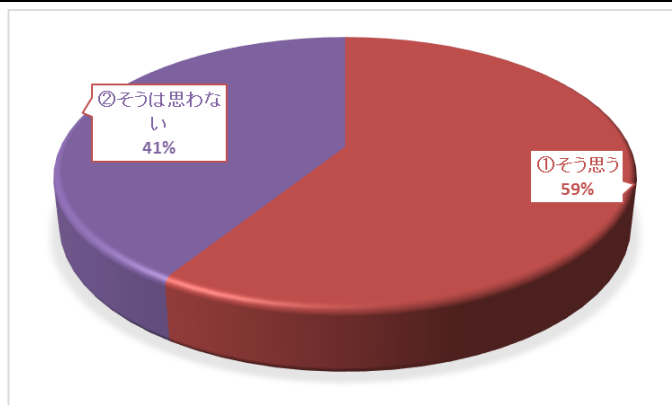
「その他」の記載内容でトイレ整備を望む回答が多かったが、重複内容は一部省いた。



- 貸自転車・車いすなどを用意して気軽に借りられるようにする。
- きれいな公衆トイレを整備し、数ヶ所設置して下さい。
- 未修景の建物を早く明治・大正風に整備して欲しい。
- 歩道を整備し広くして欲しい。
- メイン道路の交通を規制し、歩行者を優先する道路を確保して欲しい。
- 表通りだけではなく、路地裏も整備して賑わいを創出する。
- 季節を通じ花卉を楽しめる通りにして欲しい。
- 無料駐車場を整備。七日町駅中の店も出来た時と変わらない。そろそろリニューアル整備し店も広くして欲しい。
- 市民にも七日町整備の情報を発信して欲しい。
- 現在の七日町は歩行者、自転車がとても危険なので、安全に安心して往来できる道路環境を整備して欲しい。
- 道路や憩いの場に緑をもっと増やして欲しい。お店も店頭に花を飾るなどして植栽の意識をもっと高めるべきだと思う。そうすれば街自体がもっともって生き生きしてくると思います。
- お店の人の愛想が悪かった。建物の整備も大事だが接客に明るさが欲しい。
- 高齢者も気軽に行けるような軽い運動施設やカラオケ店が欲しい。
- 買い物、食事、劇場鑑賞等と一緒に出来る施設があるとよい。
- 観光客から「お店の中以外で歓談できる場所が無いので整備して欲しい」という話をよく聞く。
- 交通量が多く歩道が狭いので大町通りのように一方通行にする。一定期間、実証実験し、市民、観光客、お店の人の意見をまとめて今後どうするか具体的に決めていけばよいと思う。（祝祭日限定や時間規制など）
- 七日町も含めキャラクター（歴史ものなど）をもっと発案してください。

16 七日町エリアの整備事業において、涙橋やキリシタン塚、中野竹子殉節碑などがある西に対象エリア（会津若松市の魅力向上に関するアンケート調査用紙2枚目の地図を参照）を拡大するべきだと思いますか？＜1つに○印＞

エリア拡大を望む市民の方が59%という結果がでた。



問17 七日町エリアのまちづくりについて、ご意見等ありましたらご自由にお書きください。

701件中359件の回答があった。

重複する内容、質問に記載される「まちづくりへの意見」ではなく「個人的な思い出」「行政に対する陳情」「行政、個店やアンケートの設問に対する苦情・クレーム」「問1から16までの回答と重複（特に問15にある公衆トイレや歩道拡幅に関すること）するもの」「全く別エリアへの改善案」は例外を除き基本的に除外した。

1. ウォーキング、自転車が注目されている。また、高齢者が増え自動車の運転が出来ない、あるいはしない様指導されている人も多い。徒歩でも楽しめるまちづくりをして欲しい。
2. エリアをもっと広げ（渋川問屋の裏手）活性化させないと七日町通りのメイン通り一本では中途半端になってしまう。タテヨコの通りがうまくからめば飛騨高山のような街づくりが出来ると思う。
3. 七日町エリアに限らずヨークベニマルやリオンドール以上に買い物に便利なまちづくりをしてほしい。たとえば、肉屋、魚屋、八百屋、お茶屋、お菓子屋などの専門の食料品店を通りにずらりと並べる。各種衣料品店も並べその地域に行けば「アメ横」のようにすべての買い物を楽しく出来るようにする。やり方によっては郊外的大型店にも対抗できるのではないかな。
4. 1つのお店になんでもかんでもかかえると商品の魅力が死んでしまう。秋葉原の電気街、青山、原宿のブティック街、地元だと喜多方ラーメン店街のように同業者をずらりと並べると逆に商品自体が生きてくる。お店同士も刺激になり商店街自体の力が増していくはずだ。会津でも門田地区はホームセンター激戦区で全国的にも品ぞろえがよく、お店側もよく勉強しているので評判が良いという話を聞いたことがある。

5. 七日町にしかない物凄くおいしいスイーツなど、テレビで話題になるような商品を開発すれば、七日町にたくさんの人が行くと思います。
6. メイン通りは車が多く歩道も狭い。危険なので通りの一つ奥に入った町（たとえば北小路町）に店を多く作った方が修学旅行とか高齢者には喜ばれると思う。
7. 街並みは昔風に統一されてきてとても良くなったと思います。歩道が狭く、観光客や学生、団体客は歩きにくいと思います(特に冬)。観光客の方は長靴などはいていない。歩道が広くロードヒーティングにしたら冬でもたくさんの人が来てくれると思います。
8. 大町通りや神明通りのエリアと連携した大きなイベント等をしてみてはどうでしょうか。
9. 七日町ばかりを考えるのは良くない。周辺エリアの町なみも考えてほしい。私はよそ者だが会津の人は偏った考え方で足を引っ張り合い、醜さだけが目立つ。市民が一体となり地域をよくする気持ちを共有してほしい。
10. 七日町に限らず会津全体を音楽で街づくりする。通りに面する歩道に音楽を流す。公園で定期的に音楽会を開く。会津にある小、中、高校の合唱部や吹奏楽部は全国大会の常連校が多い。合唱では一般の部でも全国大会に毎回出場している。大会だけでなく各種団体が町おこしや地域の活性化にも気軽に参加できる仕組みも作って欲しい。常識の範囲内での謝礼、公園やホール以外でも駅構内、ホームでのコンサート（東京駅の駅コンが有名）、空き店舗もコンサートホールに変えてしまう。それ以外の時は地元の工芸品や芸術作品を常時展示すれば賑わいも増すと思う。
11. 歴史も大事だが会津の「食」にこだわったエリアにして欲しい。たとえば、ここに来れば会津全域のこだわりのそばが食べられる。または伝統野菜にこだわった料理店(和洋中)が並ぶ通り。老若男女すべてに共通するのは「食」です。そば、伝統野菜以外にも地鶏、コシヒカリ、自慢の地酒など。
12. 神社仏閣が多いのは良いが年配の人向けになってしまうだろう。若い人も興味を引く取り組みもして欲しい。
13. 大町四つ角～ふれあい通り～北小路～七日町とゆったり歩くか自転車で散策できるゾーン作りを進めてほしい。観光ポイントの設定や掘り起こし、歴史的な史跡への案内板設置の充実、パンフの配布、レンタサイクルや案内所なども多角的に進めていって欲しい。
14. 屋内または屋根付きの休憩スペースを作る。そこで「札幌の焼きトウキビ」のような普段とは違う楽しみ、意外性が欲しい。
15. 七日町はもう充分賑わい、一定の魅力のあるエリアになったのだからこれ以上の試みはやらなくてもいいのではないかと。むしろ、七日町が拠点となり市内や市外との交通の便を改善すべき。会津バスの路線バスを小型化して一時間当たりの走行本数を増やすなど各エリアへの巡環を活発化すべきだと思う。
16. 大正浪漫調の町づくりを目指すのであれば、今後も店舗をどのようにすべきか計画的に改修を進めるべきだと考えます。七日町に限らず、もっと笛や太鼓等の音楽

や八重のテーマ、白虎隊の歌等を流してウキウキワクワクさせて購買力を高める。
体験型観光も実施しアピールする(絵ろうそく、漆器絵付等々)。

17. 老若男女が参加できるイベントを企画し実行する。(歌や演奏、踊り、東西の縄跳び、綱引き大会等々)
18. 会津若松市は観光地が多くあり大好きです。全国の方々がより多く会津の地に喜んでこられることを願っております。がんばりましょう。中年女性はおしゃれをする余裕もある。女性だけの洋品小物やバック・エプロン・靴などが揃っていたら入りやすいしウィンドウショッピングが楽しめる。寄ってみて好みの物があれば足を運ぶ機会が多くなると思います。そういうものが無いのであったらいいと思います。七日町周辺だと自転車でも行けるので気軽に出かけることが出来ます。
19. 冬期間のイベント企画を考えていただきたい。例として「綱引き」「雪像作り」「月の市」など。
20. 飛騨高山、川越や木曽のようにお店がびっしり並んで(もちろん町屋風に)飽きがこない街並みになることが夢です。
21. 七日町通りは自転車に乗ると道幅が狭いのでとても気を使う。観光客や車に気を配るので、ついつい通るのをやめてしまいます。人、車、自転車が安心して通れる道路整備が必要です。
22. 七日町は、郊外型アウトレットショップを模倣し、会津の地場産品を販売する施設形態を目指してもよいと思う。
23. 「車両の交通を優先するのか、歩行者を優先するのか」です。観光優先とするなら、一方通行として左右に歩道を広く取るべき。そして、土日祝祭日は歩行者天国等も有効でしょう。終日が無理なら時間制で。一方通行は駅前から大町を経由するので坂下方面にするのが妥当だと思う。
24. 東京ディズニーリゾートのようなテーマパークを模倣した町並みを観光客が望んでいると思う。店舗装飾や歩道の工夫は当然のこととして、同リゾートのように定期的なイベントや神出鬼没のお祭りの演出や出展、アトラクションも喜ばれるだろう。観光客が地元民と交流できるような場も設定されていれば必ずリピーターになってくれると思う。
25. 七日町の核となるホールかイベント会場があればよい。既存の施設を工夫し400~500人規模の特徴的会館を整備する。演劇、音楽、落語、映画等でのぎやかな街づくりもしていく。
26. 世界でも有名な土地にしていく。観光だけではなく、漆器、桐タンス、藍染め、会津木綿などの超高級品を扱い世界のバイヤーが買い付けに来るような街にしてほしい。
27. 通りがいつも渋滞している。信号機に右折の矢印信号を取り付けるなど工夫し渋滞解消にも取り組んで欲しい。
28. 街並みの美化のためにも食べ物がテイクアウト出来るお店の前はごみ箱設置を義務付けて欲しい。

29. 中野竹子が涙橋で亡くなったのを「八重の桜」で初めて知りました。七日町周辺の歴史情報をもっと市民にも発信して欲しい。
30. 幕末ストーリーが大好きな歴史ファンがたくさんいます。白虎隊の飯盛山だけではなく七日町なら阿弥陀寺、妙国寺などもアピールする工夫が必要だと思います。
31. 七日町のアンケートで会津全体のアンケートではない。七日町オンリーでは市民として協力出来ない。七日町のまちづくりのアンケートを滝沢に住む人がどうして答えなければならないのか。封筒や紙代がもったいないと思います。

Ⅲ - 2 来街者（観光客）調査の結果

■ 調査にあたって

この調査は、当市を訪れた観光客から直接聞き取る形式でアンケートを取りまとめた。

本県を含む被災地以外から訪れた観光客は、調査員に対し「私たちが福島県に来る事が震災復興の一助になればうれしいです」また、「会津を含む被災地に行く事自体が復興に貢献しているという充実感を得られる」と話す回答者が多かった。

ただし、関東圏からの観光客は、国道 289 号の甲子道路や那須塩原経由、宮城県や岩手県からの観光客は、東北自動車道を直接南下せず宮城県にある村田ジャンクションから山形自動車道に迂回し、米沢方面から会津に来たと答える回答者もいた。

聞き取りから、福島県以外の観光客は、原発事故による放射線量が未だに高いと言われる郡山市、福島市の通過を避ける傾向が見受けられ、原発事故による風評被害が未だ続いている現状であるもので、福島県を含む被災地の震災、原発事故からの復興のためにも、様々な事業展開が今後も必要不可欠であると痛感した。

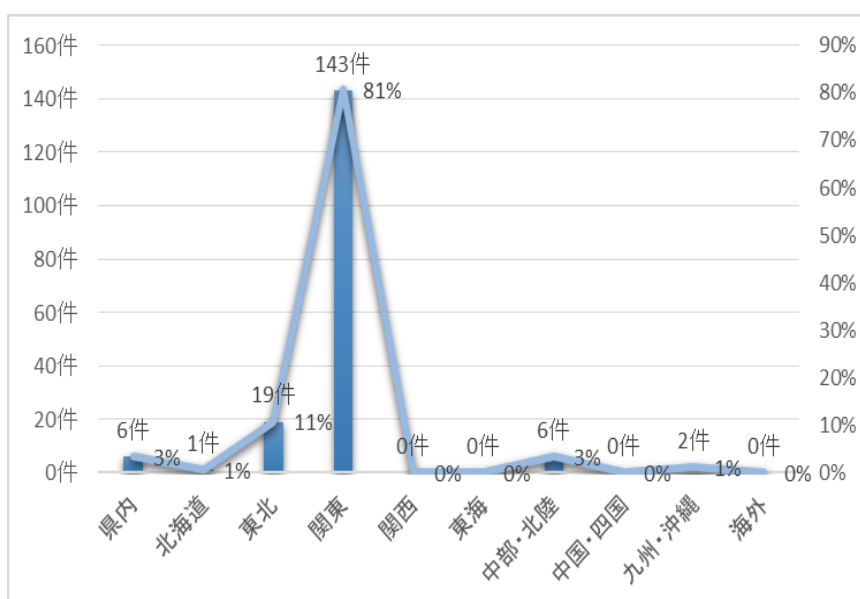
■ 属性

1 どこから来たか

聞き取りをした観光客の 81%にあたる 143 人が関東方面からの観光客、続いて東北の岩手、宮城県から、中部・北陸は近隣の新潟県、県内からの日帰り、北海道、九州からの観光客も調査に応じた。

会津若松商工会議所観光・旅客運送部会が平成 16 年から 17 年に実施した「会津若松市観光客アンケート調査報告書」でも、観光客居住地が関東圏である回答が 53%を占め、以前から関東圏からの観光客が多い地域である。

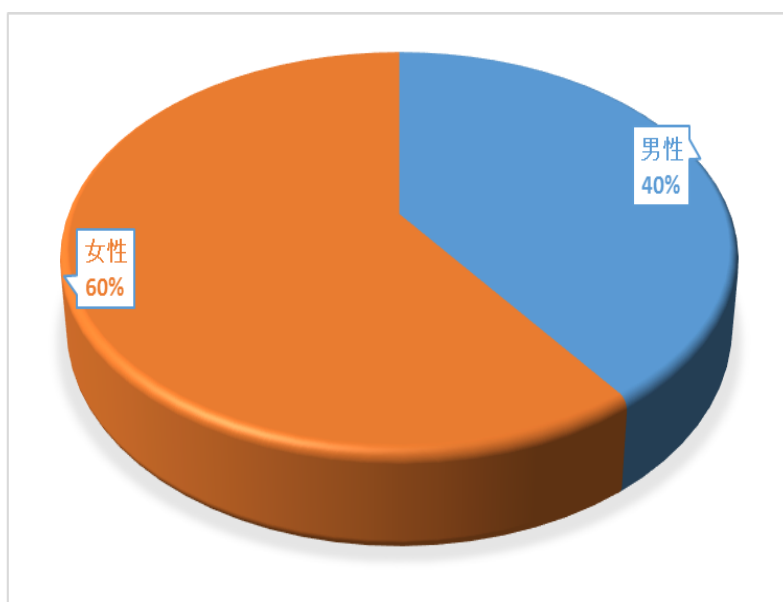
聞き取りをした際に旅行会社の添乗員から、原発事故による風評被害により、関東以西から福島県への観光客が事故前よりも未だに少ないという話があった。その傾向がこの結果に現れた可能性も高い。また、北海道、九州からの観光客は会津大学を受験する高校生で、大学見学のついでに会津の観光地を巡るなど、多種多様な方に聞き取り調査ができ、本調査をまとめる事ができた。



2 性別

女性客が106人（60%）、男性客が71人（40%）と女性客の割合が高かった。

調査を実施した七日町界隈は、街並み観光のほか、地元の菓子店、会津の工芸品や民芸品を取り扱う店も多く、お土産品を選ぶ楽しみもあり、他の観光地よりも買い物好きな女性客を多く取り込んでいたこと。また、平日の調査だったため主婦層が多かったと推察される。



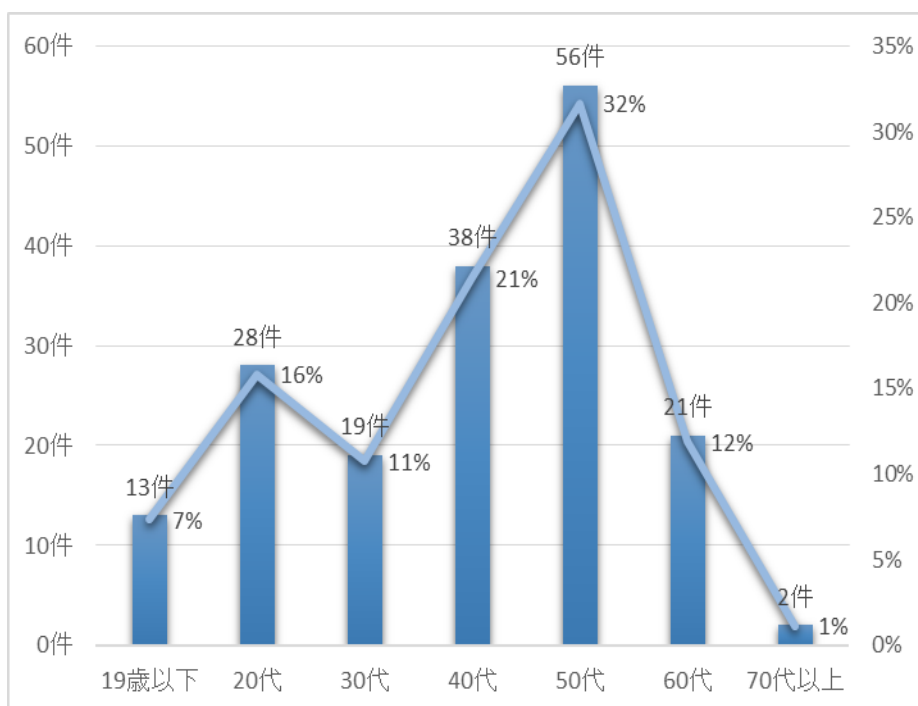
3 年齢について

年齢別では40歳代以上の観光客が117人と6割以上を占めた。

平日の日中に調査をしたため、現役を引退した夫婦連れや主婦層が多く中高年の割合が増えたと思われる。

会津には、七日町以外にも多様な観光地、施設がたくさんあり、幅広い世代で楽しめるエリアでもあるのだが、学校行事の遠足で会津に来た引率の先生からは「修学旅行

の行先が変更になっていましたが震災前と同じ会津に行く事になった学校が増えました」という回答もあり、原発事故による風評被害の影響が年齢構成にも表れているのではと推察される。



■ 旅行全般について

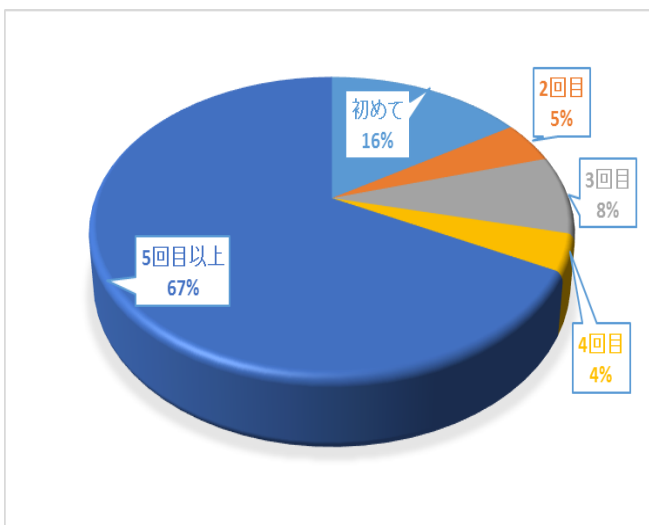
4 会津への訪問回数

会津に初めて来た観光客は28人（16%）、それに対し5回以上訪れたと回答した観光客が119人（67%）もあり、リピーター率が高い結果となった。

「初めて」と回答した年代はすべて20歳代以下と、調査時に学校行事で訪問したか、家族連れで来た子供たちが回答した表れかと推察される。

また、昨年放映されたNHK大河ドラマ「八重の桜」の観光企画で来たなど、「会津への観光企画が多いので何回も来ている」という回答が多かった。

会津は、関東圏からの観光客が多い地域であり、時間的にも近くにある観光地としてリピーター率が高いのは大変喜ばしい事であるが、今後、初めて会津に来る観光客や、外国人観光客を更に取り込むため、テレビ、旅行雑誌などのメディアのほかインターネットを効果的に使ったPR、キャラバンなどの誘客活動に力を注ぐ必要性がある。

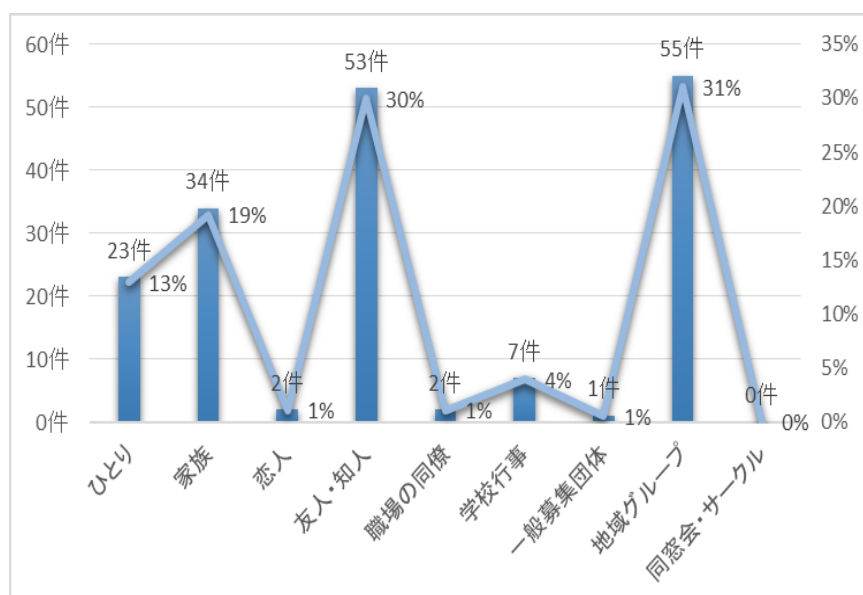


5 誰と来たか

旅行会社の観光企画などを利用した地域グループの旅行、友人・知人の旅行、家族旅行が、全体の80%を占めた。

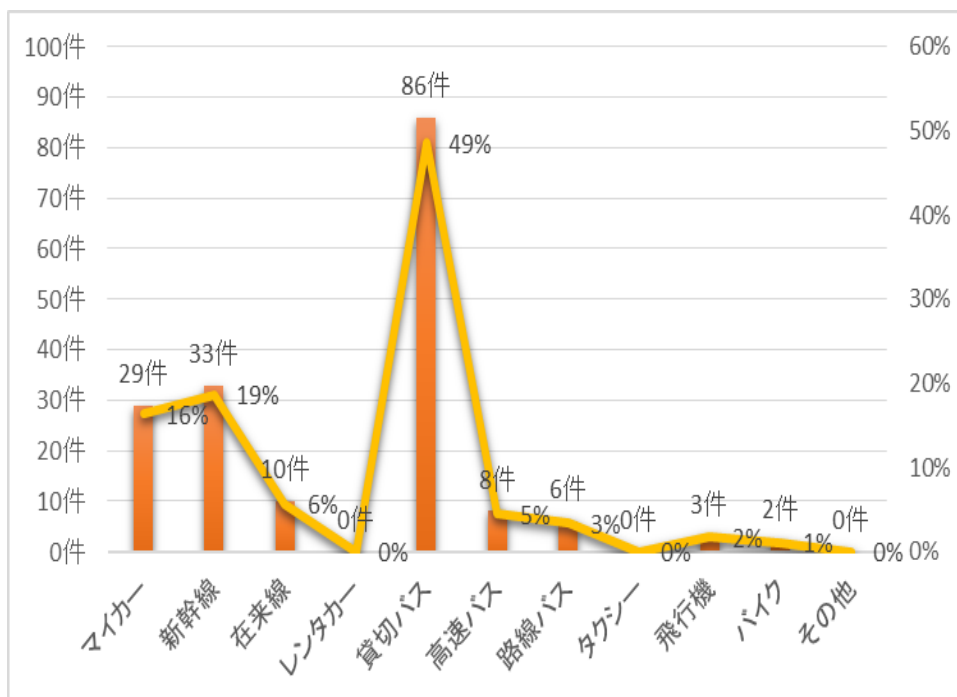
大河ドラマ「八重の桜」効果もあるが、回答者からは「福島県の復興に貢献したい」という回答がかなりあり、復興支援を目的にした仲間同士のグループ旅行が、今回の調査では多かった。

しばらくは、この傾向が続くと予想されるが、これからは「八重の桜」などの流行に左右されない、安定して観光客を取り込む企画を関係機関一体となって構築する事が求められている。



6-1 交通手段

貸切バス利用が86人(49%)と最も多かった。回答者からは「信頼できるバス会社なのでいつも利用している」「価格の安さ」「目的地まで直接行くことが出来る利便性の良さ」から選択した旨の話があった。また、少人数のグループ旅行では、東北新幹線利用と宿泊がセットになった旅行会社の企画商品の利用が多かった。



七日町周辺は駐車場が少ないため、マイカー利用者は少なかったが、駐車場が整備された郊外の観光地ではマイカー利用が大半を占めており、マイカー利用者からは「子供連れなのでバスや鉄道だと全体の費用がかさむ。費用と利便性からマイカーを利用した」という回答もあり、今後、子供連れ、介護の必要な高齢者同伴の観光客を取り込む事も含め、更なる駐車場の整備は喫緊の課題である。

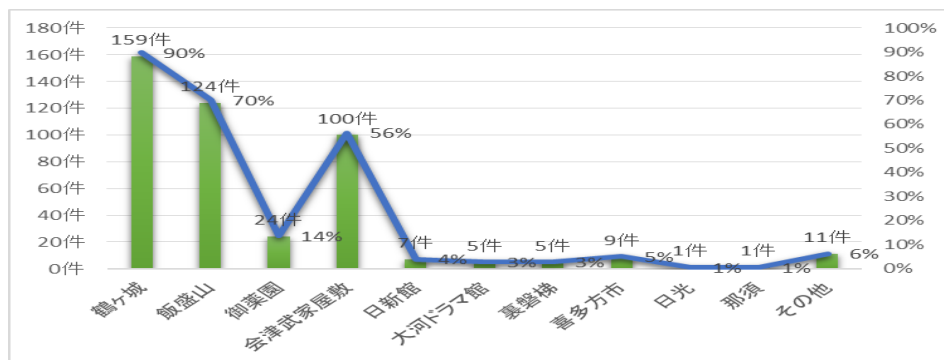
なお、在来線を利用したのはすべて東武鉄道利用だった事からも、関東圏からの観光である事が伺えるが、「東武沿線から直接JR七日町駅に到着出来る利便性の良さ」を上げる回答もあり、東武鉄道や会津鉄道との連携も誘客アップの大きな鍵になるのではと推察する。

今年春には北陸新幹線、来年春には北海道新幹線が相次いで開業し、これに伴い旅行の分散化が激しくなると予想される事から、隣接する都市との連携、JR東日本、東武鉄道、会津鉄道との連携は実現させなければならない時である。

6-2 訪問先・訪問予定地（複数回答有）

ほとんどの観光客が鶴ヶ城、飯盛山、会津武家屋敷を訪れている。

観光バス利用者の多くは、最初に大内宿を見学した後、芦ノ牧温泉に宿泊し、翌日、市内を観光して帰るか、東山温泉



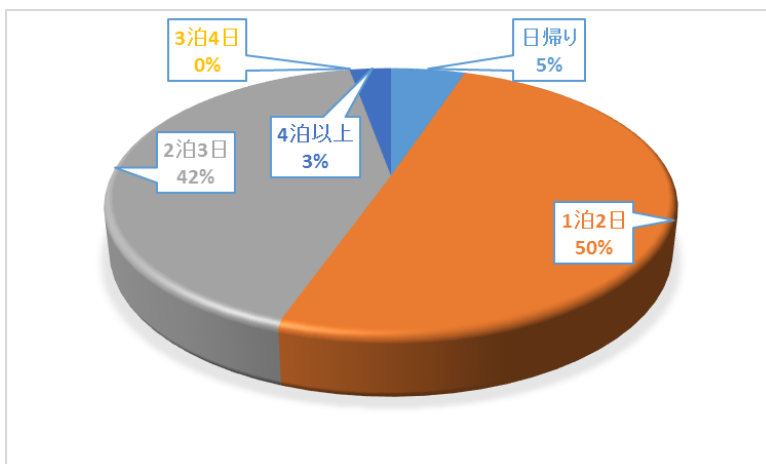
に宿泊するパターンが多かった。なお、その他の4パーセントはすべて大内宿だった。

7 滞在日数

1泊2日、2泊3日という回答者が163人で、全体の92%を占めた。長期滞在の回答はなかったが、回答者によると、「関東方面からは高速道路利用で片道4時間程度、気軽に行ける観光地」という話が多かった。関東在住者にとって会津は、短期間で行ける定番の観光地である。

また、貸切バス利用者からは、大内宿を経由し芦ノ牧温泉から会津若松市内の観光地に行く。その後、そのまま帰るか東山温泉の旅館でもう1泊という回答が多かった。

新幹線利用者は、市内のまちなか周遊バス「ハイカラさん」を利用し、鶴ヶ城、会津武家屋敷などの主要な観光地を移動している観光客が多く、「まちなか周遊バス」を利用すると便利だとあらかじめ調べてきた人がほとんどで、観光客に定着しているようだ。



8 宿泊先

観光客の8割以上が旅館を利用していた。

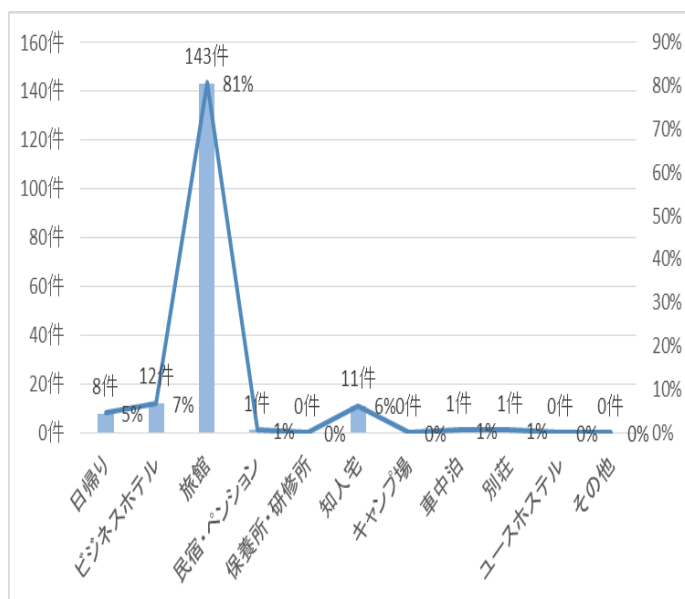
その他、ビジネスホテル、日帰り、知人宅の回答も少数意見としてあった。

今回の調査では、貸切バス利用が多く、東山温泉、芦ノ牧温泉の大型旅館に宿泊している。

マイカー利用者は、ビジネスホテルへの宿泊が多く、回答時、「駐車場が隣接しているビジネスホテルを事前に調べ選択した」と答えるケースが多かった。

旅館としては、東山温泉の「御宿東鳳」「原瀧」、芦ノ牧温泉は「大川荘」「丸峰観光ホテル」という回答が多く、小さな旅館利用はなかった。

ビジネスホテルでは、「東横イン」、「駅前フジグランドホテル」などが利用されていた。なお、宿泊先への苦情、クレームは特になかった。

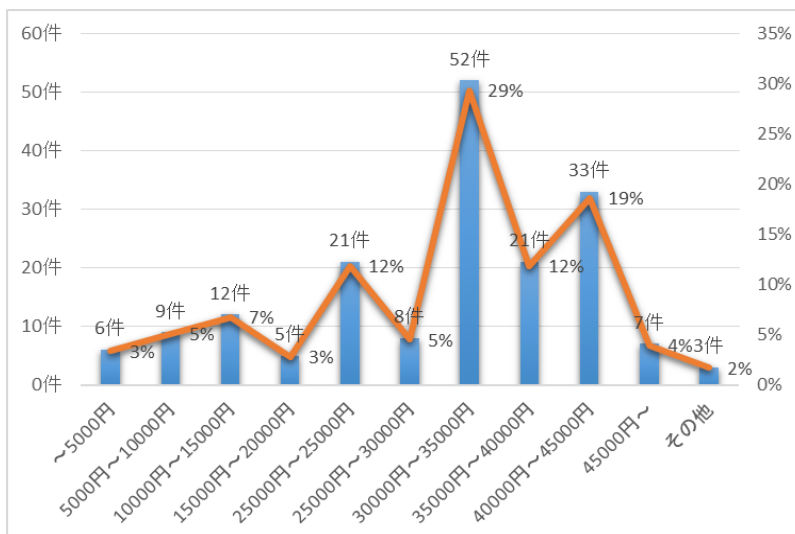


9 旅行全体の予算

3万円から3万5000円が52件（29%）、次いで、4万円から4万5000円が33件（19%）で、全体の約50%を占めた。

平日の聞き取りだったことや、学校行事、冬季限定の特別料金を利用した回答も多く、滞在日数や宿泊先と連動した妥当な金額であったと思われる。

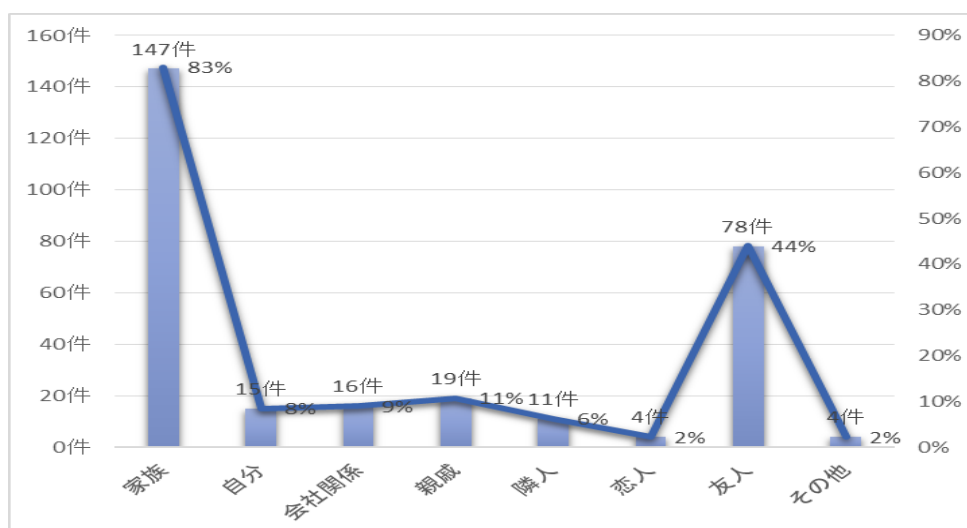
なお、調査時期を休日や祝祭日、夏休みやお盆期間中など、繁忙期に調査を実施すれば、今回よりも高い金額の回答が増えると予想される。



10-1 お土産を買う相手（複数回答有）

家族が147件（83%）と大多数を占めており、次いで、友人が78件（44%）という結果となった。

旅行に限らず日常生活でも、一般的にこのような調査結果になるものとする。

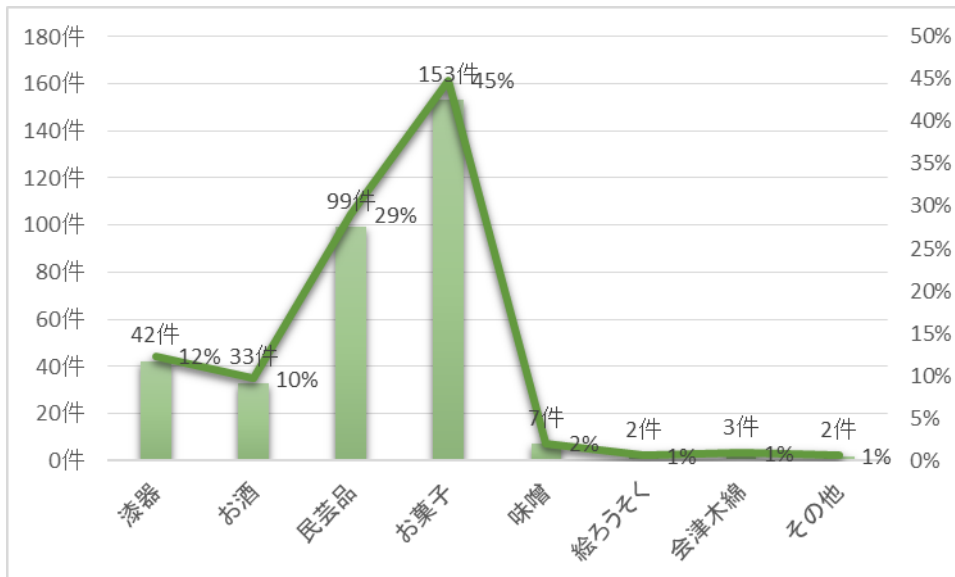


10-2 購入（購入予定を含む）したお土産（複数回答有）

お菓子という回答が153件（45%）と最も多かった。会津のお土産の定番である「起き上がり子法師」「赤べこ」などの民芸品や、地場産品である「会津漆器」「会津清酒」という回答が大半を占めた。

平日の日中という調査日でもあり、また、女性客が多かった事もあって、人気の「会津清酒」は少なかった。

七日町駅カフェを熱心に見ていた回答者からは「品ぞろえも豊富で楽しかった」という話しかからも、選べる楽しみが観光客に興味を引き付けていたと推察される。



11 会津で食べたいもの（複数回答有）

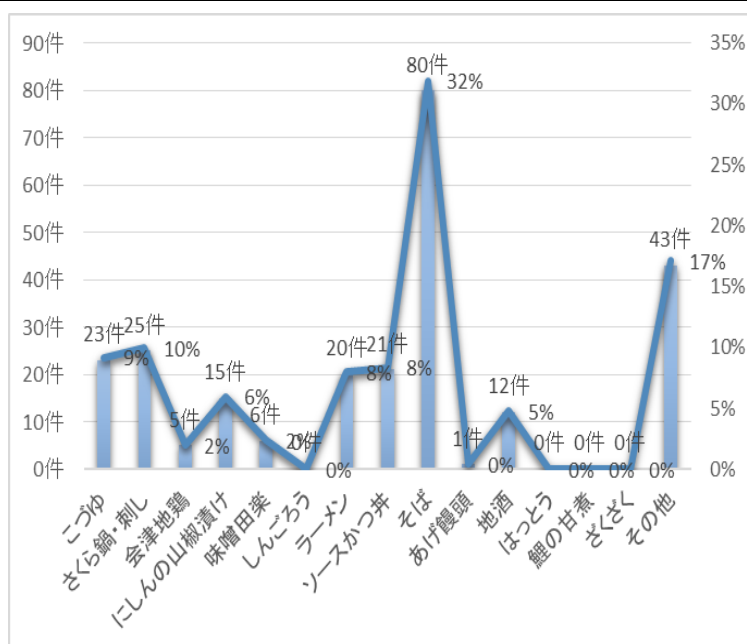
回答者のほとんどが食事の予定が事前に決まっている団体、グループ旅行だった事で、食べたいものよりも、食べた料理の回答が多く、「そば」が80件（32%）であった。

さくら鍋・刺身やこづゆに代表される郷土料理も「宿泊先で食べた」という回答も多く、会津の大型温泉旅館がバイキング形式で郷土料理を提供しているからと思われる。

しかし、観光客より郷土料理はどういうものかという質問もあり、郷土料理が周知されていない可能性もあり、逆に、郷土料理のPR自体が新たな観光戦略になるかもしれないもので、観光関係者の発想の転換に期待したい。

まだ、食事の予定が決まっていない回答者からは「会津ラーメンやソースかつ丼、カレー焼きそばを是非食べたい」という回答が多く、会津のB級グルメが観光客にも浸透してきたようだ。

その他は「特になし」か「郷土料理がよくわからない」がほとんどだった。



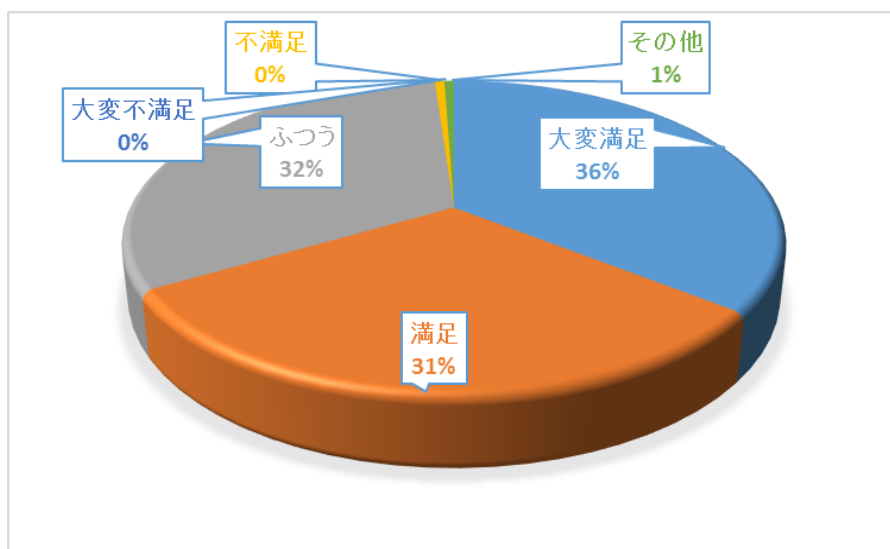
1 2 観光案内・情報サービスの満足度

「大変満足」「満足」と回答した観光客が7割程度あり、「不満足」「大変不満足」という回答は全くなかった。

回答者によると、「観光案内所、旅館、お店の人が親切で、丁寧に教えてくれた」という話しも多く、接客面での不満はなかった。

また、「会津若松駅の観光案内所は手荷物を預かり、温泉旅館まで無料で届けるサービスがある。大変便利なのでリピーターも多い」という話しもあった。

インターネットで会津観光を調べてきた回答者からは、「観光地までのアクセス、所要時間等の情報が豊富で旅行の計画が立てやすかった」という説明もあり、行政、観光関係者のサイト情報も満足できるものだったようだ。



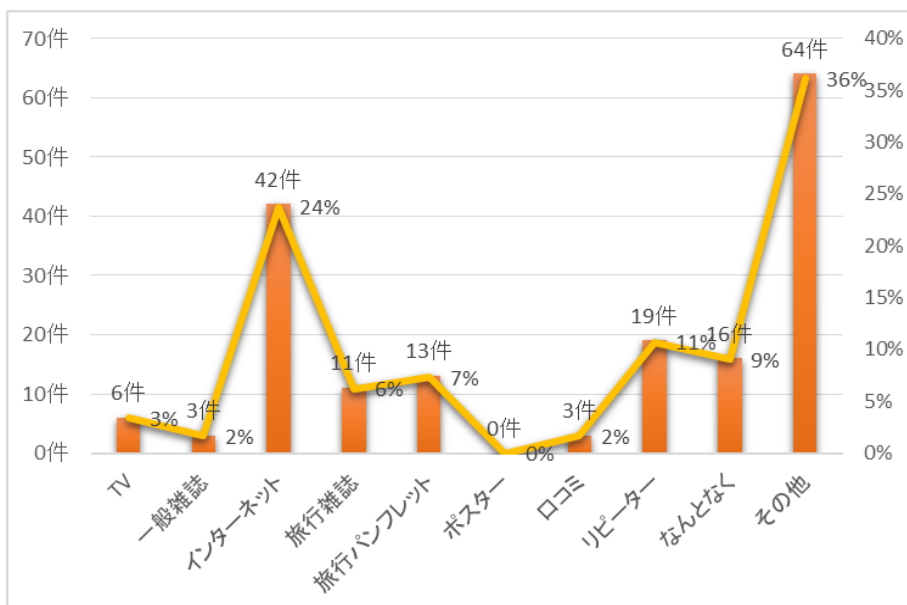
■ 七日町について

1 3 七日町を訪問地にした理由

インターネット（スマートフォンなどの携帯端末を含む）で調べて選んだという観光客が42件（24%）と多かった。旅行雑誌やパンフレットという回答もあったが、インターネットからの情報収集が定着している。

携帯端末を見ながら観光を楽しむ観光客も多く見かけたことから、携帯端末が安価になり利便性も向上しているので、今後もこの傾向が増えていくだろうと思われる。

その他が64件（36%）の回答があり、その大多数が旅行コースに七日町があらかじめはいていたという回答だった。



県内からの観光客は飲食店のリピーターが多く、それが「七日町を訪問地にした理由」になっている。

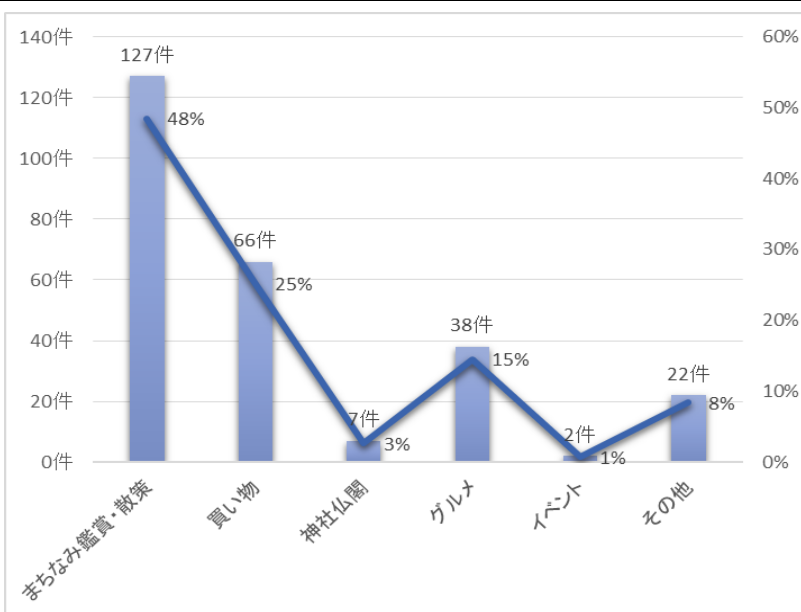
1 4 七日町への訪問目的（複数回答有）

まちなみ鑑賞・散策という回答が127件（48%）、買い物（主にお土産）が66件（25%）、グルメ38件（15%）と続く。

まちなみをバックに記念撮影をする観光客も多く見かけ、まちなみ観光が定着している。

また、「お菓子、会津木綿、漆器製品などを手軽に買えるお店も多く、買い物が楽しめた」という回答も多かった。

「七日町をネットや雑誌で見てきた」という回答も多く、前にも述べたが、七日町のまちなみや買い物を楽しみに訪問しているのが、再認識できると思われる。



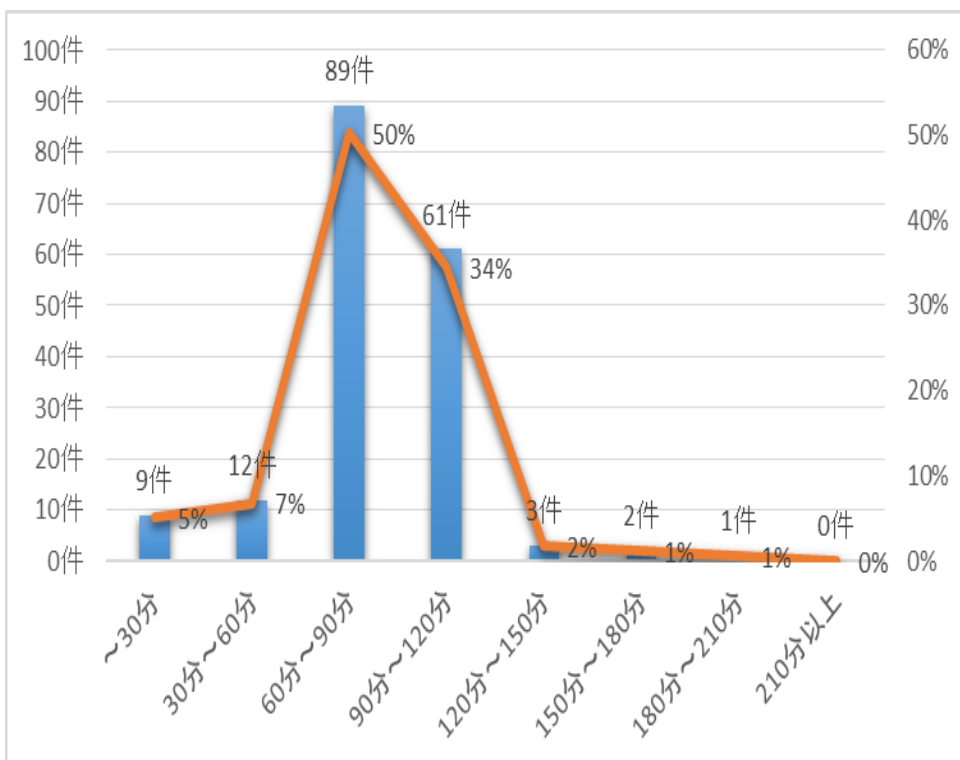
1 5 七日町での滞在時間

60分～90分と90分～120分で全体の9割近い回答となった。

団体客からは旅行企画が予め決まっており、滞在時間が決まっていたという回答がほとんどだ。

個人やグループでも旅行を計画した時点で滞在時間を決めていたという回答が多かった。

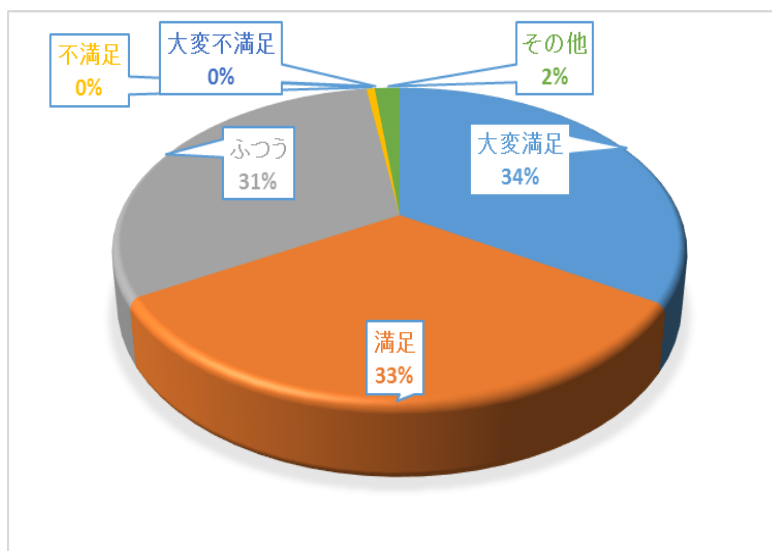
ただし、23の自由回答にもある通り、「初めて七日町に来てみたら街並みがきれいだったのでもう少し見たかった」と回答する観光客も多く、今後、七日町の街並み観光が更に周知されれば、滞在時間も伸びていくと思われる。



16 七日町の満足度

全体の約7割にあたる観光客が「大変満足」「満足」と回答した。

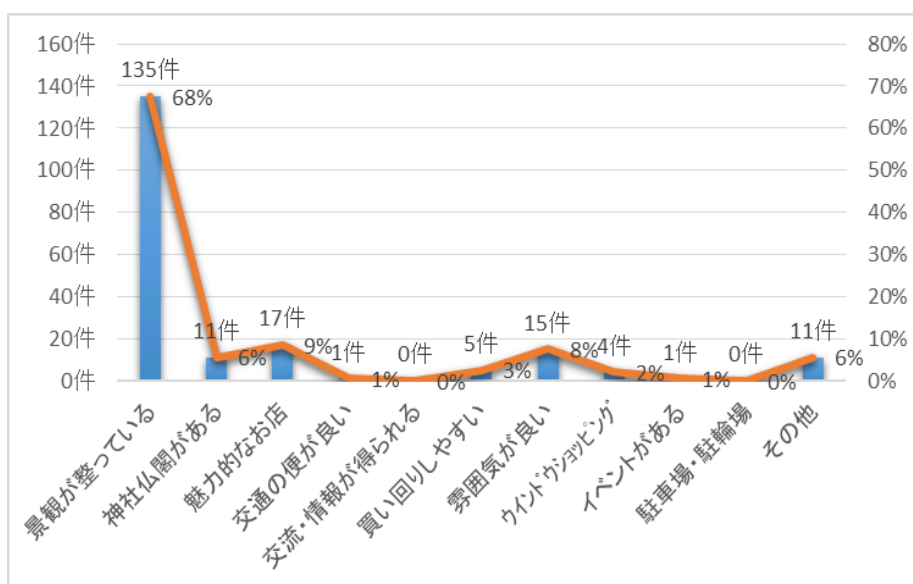
「大変不満足」「不満足」と回答した観光客はいなかったが、「ふつう」の回答者も31%あり、今後もまちの魅力を高める取り組みが必要であると思われる。



17 七日町の魅力（複数回答有）

全体の135件（68%）から「景観が整っている」という回答からも、七日町の最大の魅力は、街並み観光であると思われる。

景観以外としては、少数回答ではあるが、「魅力的なお店」「雰囲気が良い」が上位を占めており、異業種の店舗構成をはじめ、現在までのまちづくりの取り組みが観光客に評価されている結果であると思われる。



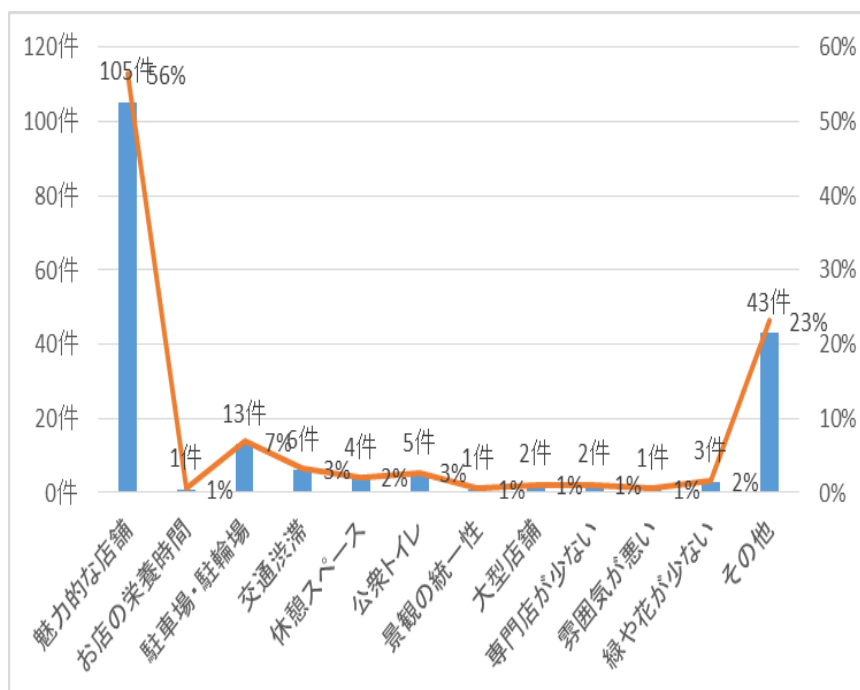
今後も、まちの魅力を高めるため、ハードだけではなく、ソフト面の接客や、顧客満足度の高いメニュー開発、商品提供を更に進める事が魅力向上に必要不可欠である。

18 七日町の課題点

全体の105件（56%）の方が「魅力的な店舗」の指摘があった。具体的な内容としては、「飲食店や菓子、地元の民芸品や漆器のお店は充実しているが、衣料品や靴なども見てみたかった」という指摘も多かった。

商店街全体で取り扱う商品の多様化を期待することから、魅力的な店舗充実を望む声が回答にでたようだ。

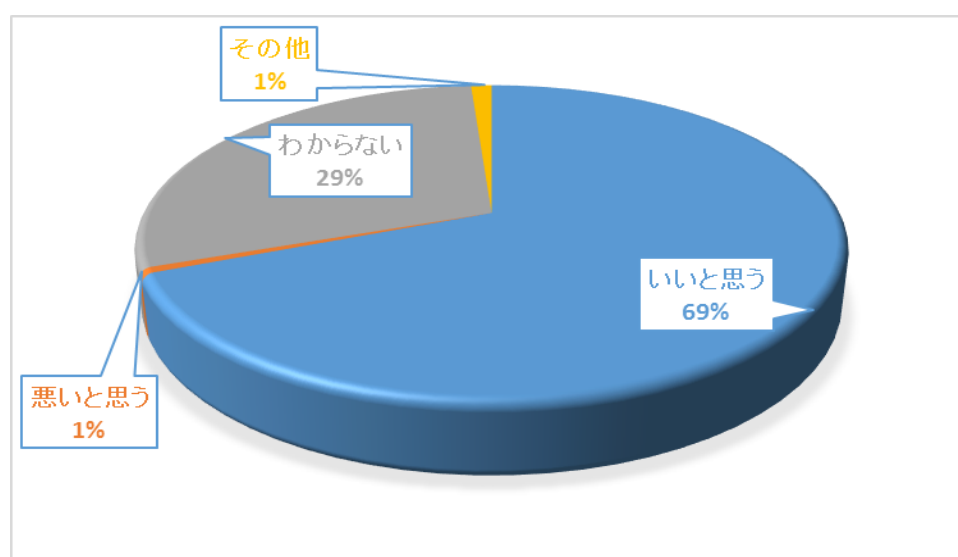
その他の回答が43件（23%）あったが、「来たばかりでよくわからない」、「初めてきたのでわからない」という回答だった。



19 七日町の門前町まちづくり構想

全体の約7割の観光客が「いいと思う」と回答した。聞き取りを行った七日町通りの阿弥陀寺周辺に観光客が集中している事からも、観光と神社・仏閣の融合は今後のまちなか観光の重要なキーワードになるもので、会津全体で考えるべき構想であると思われる。

それ以外の観光客からは、「来たばかりなので、良いか悪いかかわからない」という回答だった。



20 魅力的なまちにするために重要視するもの

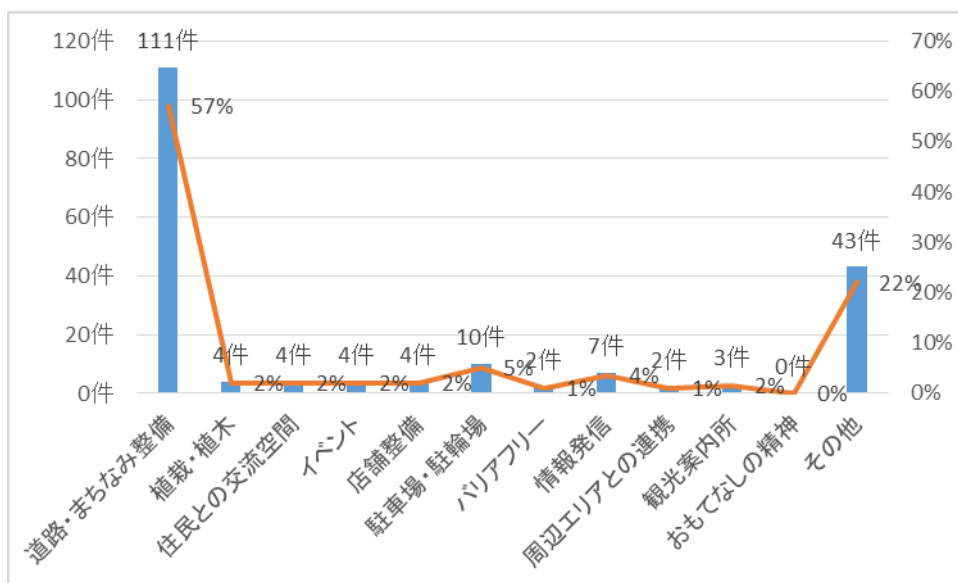
道路、まちなみ整備を指摘する回答者が111件（57%）を占めた。

具体的な内容としては、「道路、歩道が狭くて並んで歩けない」「交通量が多く道路向かいに渡れない」「観光客向けの七日町界隈の写真を見て通り自体が歩行者天国かと思っていた」という回答があった。

駐車場の指摘も多く、「駐車場がないのでパチンコ店に停めた」「各店に駐車場がないので、一か所に停めて、買い物するたびに何回も往復しなければいけない」との回答もあった。

植栽については「駅前の落葉がそのままなので気になった」などの回答もあり、植栽、植木は管理責任者を明確にしないで進めてしまうとマイナスイメージが先行するようだ。

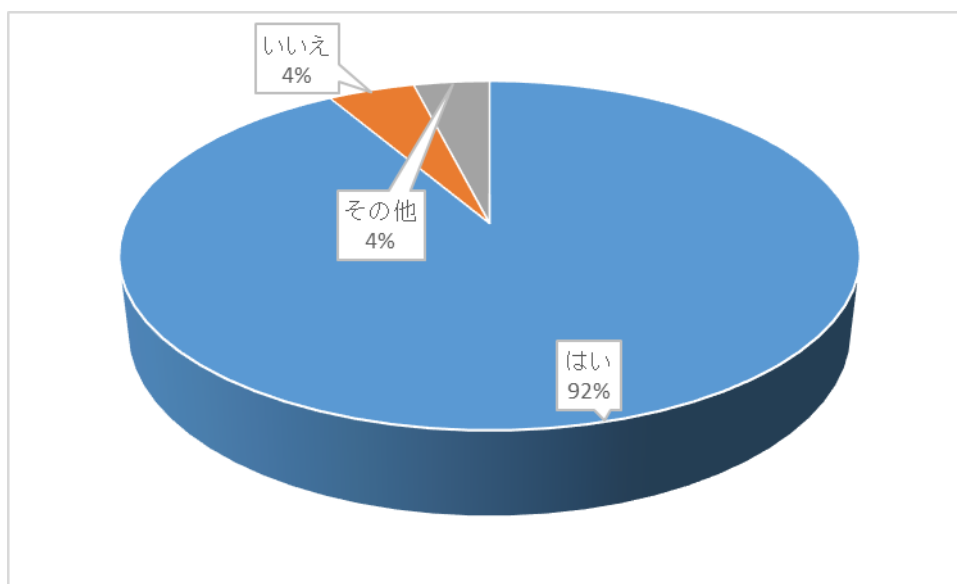
歩道の拡幅を含めた道路整備、駐車場の整備が進めば、観光がより快適になり、観光客の増加や滞在時間も増えると思われる。



■その他

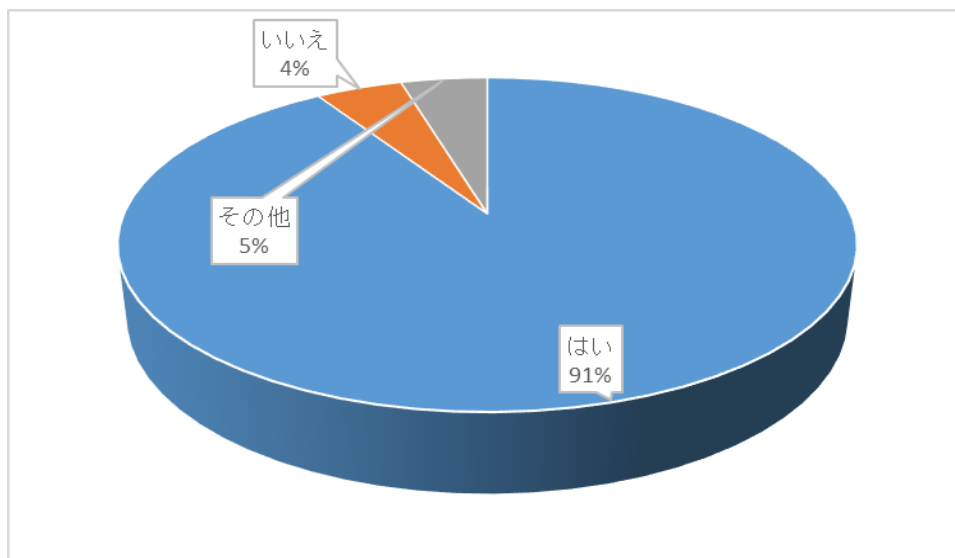
21 また七日町を訪問したいですか

全体の92%の観光客が「はい」と回答した事からも、リピーターが期待できる、環境の整った「まち」であると思われる良好な数字だった。



2.2 七日町を友人に紹介したいですか

全体の91%の観光客が「はい」と回答した事からも、2.1と同じ理由と思われる好意的な回答が多かった。



2.3 自由回答

1. 七日町には初めて来ました。次は時間をゆっくりとって見てみたい。
2. 七日町は思ったよりも色々なお店があるのでもっとゆっくり見ていきたくかった。
3. 七日町駅前にタクシー乗り場がなかったので、観光案内所で乗り場を教えてもらった。案内板もなく不親切ではないか。
4. 商店街の研修で来た。七日町商店街の方を講師にした研修もあったが、まちづくりへの取り組みについて大変参考になり勉強になった。
5. 会津の人は一般の人でも観光客だとわかると親切に観光地を案内してくれる。親切な人の多い土地柄だと感じた。
6. 七日町は街がきれい。大内宿もきれいなところだった。
7. 団体旅行で七日町に来た。出発時刻が決まっておき滞在時間が短い。もっとよく見ていきたくかった。
8. 街並みだけでなくお店も一軒一軒ゆっくり見たかった。
9. 会津鉄道のトロッコ列車に乗るために七日町に来た。街並みは今度来たら見てみたい。
10. 楽しい旅行だった。会津の人はみんなやさしくてとてもよかった。
11. 会津若松市内は全般的に道路が狭く、一方通行が多いので運転時に迷ってしまう。観光地らしい道路整備をして欲しい。
12. 七日町門前町構想に賛同です。私たちも千葉に戻ってロコミで広めたいと思います。

※重複する内容は割愛した。その他は「無回答」か「特になし」。

以 上

Ⅲ－３ 商店街ニーズ調査

■ 属性

1 業種

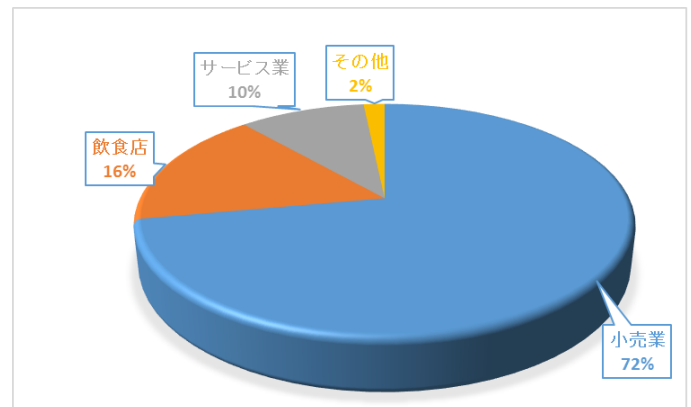
本件は七日町通り商店街の各店舗経営者等からの聞き取り調査によるもので、同商店街を形成する業種がそのまま反映されている。（内訳詳細は別表１のとおり）

全体の件数６１件のうち、小売業が７２％、飲食店１６％、サービス業１０％となり、その他１件は地元金融機関である。

接客業の商業施設のみで商店街が形成され、工業製品、食品、食材を作る工場などの製造業はない。

別表１

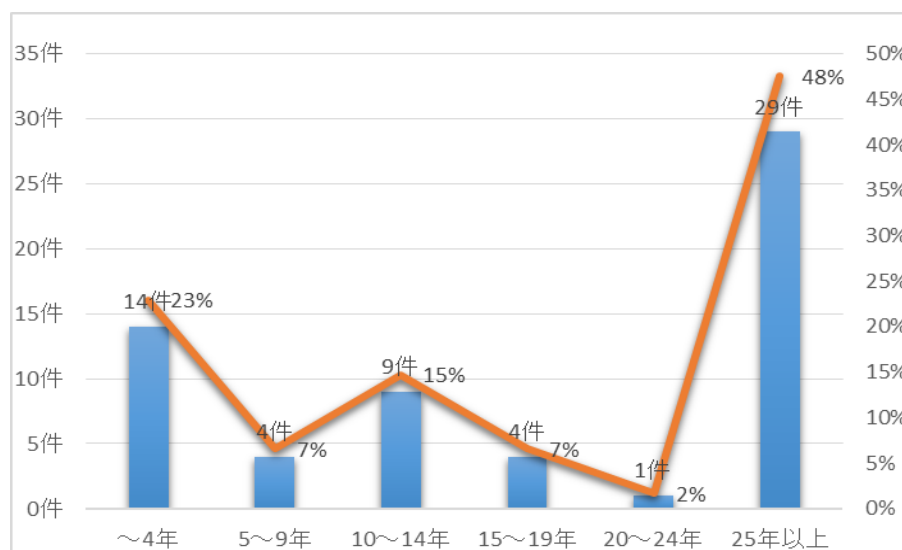
業種	選択肢	件数	割合
小売業	1 各種商品小売業	1	2%
	2 織物・衣類・身の回り品小売	16	26%
	3 飲食料品小売業	9	15%
	4 自動車・自転車小売	0	0%
	5 家具・什器・家庭用機械具小売	6	10%
	6 その他小売業	12	20%
飲食業	7 一般飲食店	9	15%
	8 その他飲食店	1	2%
サービス業	9 家庭向けサービス業	2	3%
	10 娯楽業	0	0%
	11 その他サービス業	4	7%
その他	12 その他	1	2%



2 営業年数

２５年以上営業している店舗が全体の４８％を占め、安定した商店街を形成している。次いで４年以下が２３％となっている。

平成７年から始まった建物修景への補助、空き店舗対策として県・市・商工会議所からの家賃補助を有効にまちづくりに活用し、営業１４年以上の事業所が６１件中、４３件と全体の７０％と、まちづくり対策への積極的な取り組みの成果が伺える。

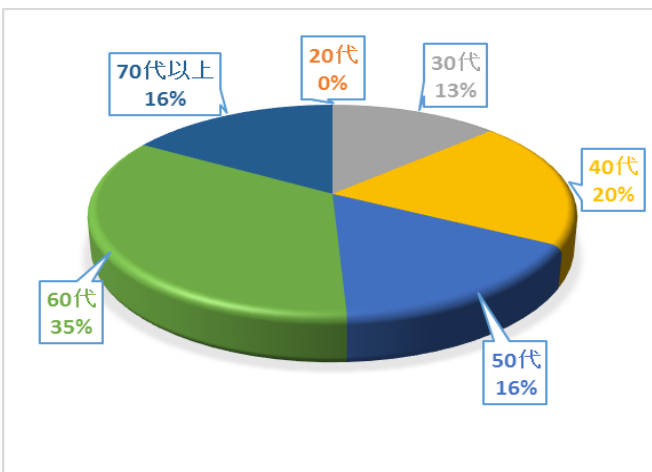


3 経営者の年齢層

60代が最も多く、40代、50代がそれに続き、全体の71%を占める。

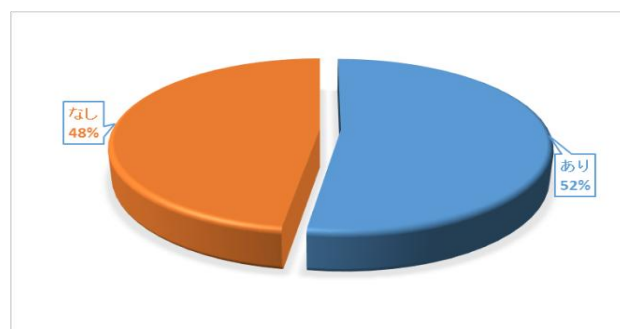
若い世代の新規創業者からは、「家賃補助により新規創業した」「街並み観光が定着した七日町に店を出したかった」という回答があった。

商店街全体で空き店舗対策に取り組んだ結果がでていいると考えられる。



4 土地・建物の所有関係

長年、営業を継続している割合が高い地域であり、土地・建物の所有率もそれに比例し高い割合になった。

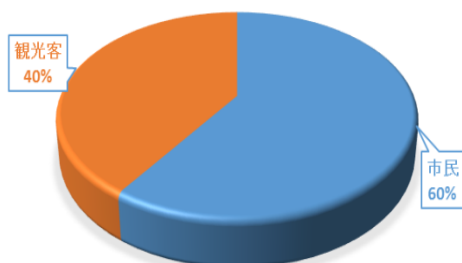


5 売り上げの内訳（地元利用者と観光客利用者の割合）

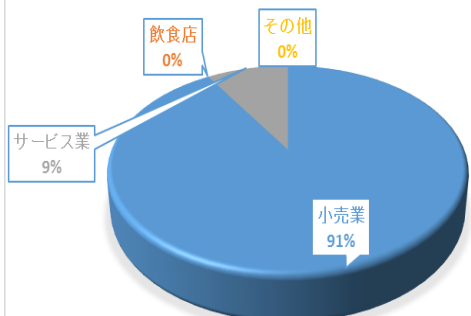
各事業所の回答を平均化すると市民6割、観光客が4割という回答だった。

観光客の比率が高い個店の中には、「郊外店に顧客が流れたことによる本業不振から観光客向けに店を改装した」というケースもある。ただし、生活に密着したクリーニング、理髪店などのサービス業は地元利用がほぼ10割。サービス業でも旅館などは観光客利用が市民利用より上回るという回答があった。

調査対象者の売上内訳の平均値



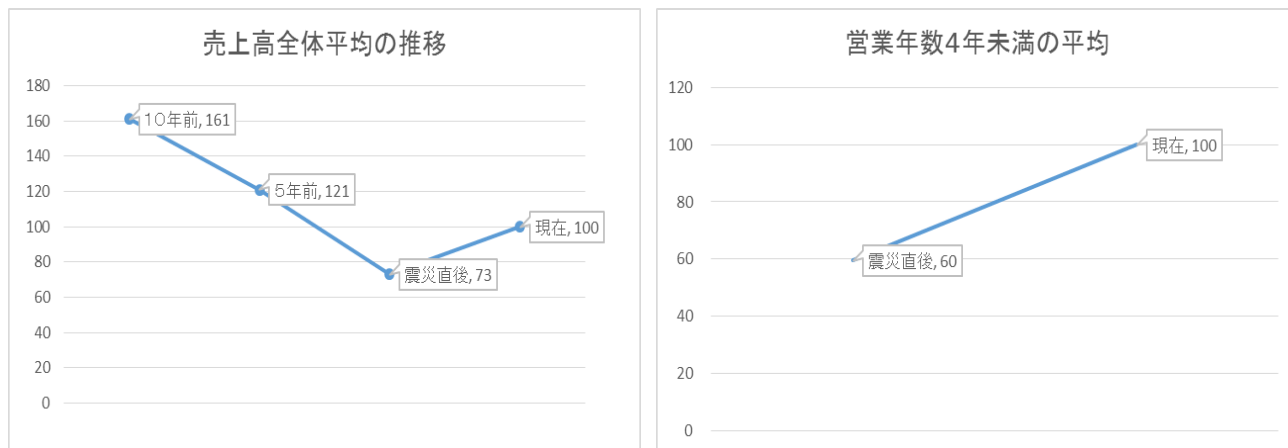
観光客売り上げが5割を超える業種



6 売上高の推移

現在を100とし、震災直前、5年前、10年前の各事業所の売上高平均を比較すると、震災直後からは持ち直したものの、全体的な落ち込みは止まらない。

一方、営業年数が4年以内の事業所売上の平均はグラフのとおりで、震災直後から売上を4割伸ばしており、新規参入した事業所に期待したい。

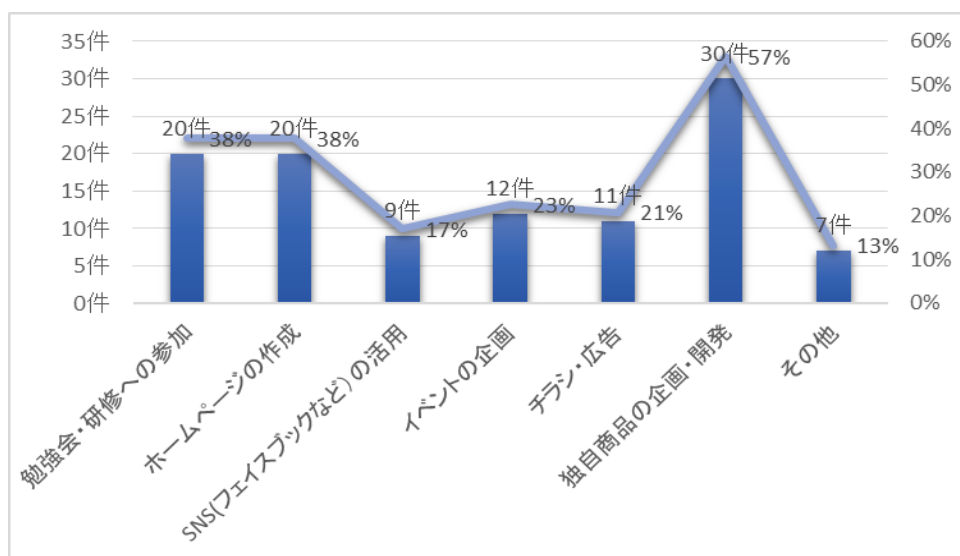


7 業績の維持・向上に向けて、個店として努力していること。

回答者の半数以上が独自商品の企画・開発を手掛けていて、業績維持の為に努力を重ねている。詳細な内容および個別事案については以下のとおり。

【小売店】

1. コンビニエンスストアなので、コンビニ間の差別化を意識し、観光客向けにお土産の販売、また接客にも留意している。



2. 絹製品を取り扱っているので、展示会やお客様向け体験も実施している。展示会では大河ドラマ「八重の桜」で綾瀬はるかさんがドラマで実際に着用したウエディングドレスの展示会を実施し、マスコミでも大きく報道され評判になった。
3. 伝統民芸品、古布などを扱っている。業界専門誌によく取り上げられるほか、テレビ、新聞でもお店が紹介され宣伝になっている。
4. 和、洋菓子の販売店。クレーム対応、接客研修のほか社員にお茶、お花を習得させ接客に対応している。また、正月、節句、ひな祭りなど季節ごとのイベント、行事も取り入れた商品開発や企画で集客を図っている。

5. 珈琲、紅茶やスイーツを提供するカフェ。テナントに入っているので、テナント同士でクリスマスなどの企画を共同運営している。また、ホームページを毎日更新し、お店の情報、新商品、新企画を随時紹介している。
6. 味噌田楽の提供および味噌の販売をしている。ギフトシーズンに贈答用商品のダイレクトメールを送付し販促を促している。
7. 酒屋なので同店オリジナルのプライベートブランド商品を開発してきた。その売り上げが全体の80%を占めるまでに成長している。
8. 骨董品屋なので骨董市に積極的に参加し、品揃えを増やして顧客ニーズに応じている。
9. 雑貨を取り扱っている。観光客が多いのでお客様にお茶をだし、冬場はこたつを用意しての接客で業績を維持している。
10. 漆器の販売店。昨年は「八重の桜」関連商品の開発、また、裏干支の企画商品を開発して販売している。

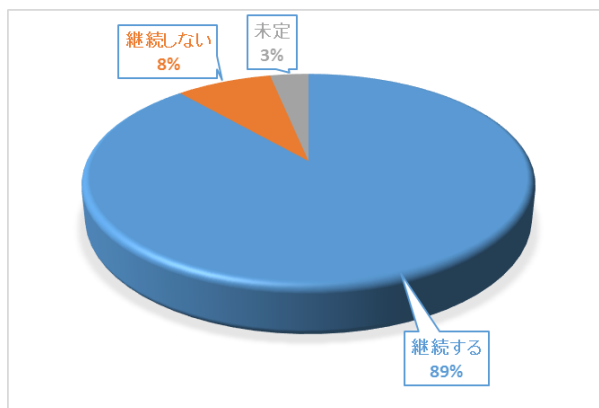
【飲食業】

1. 新しいメニューの開発を研究し、完成次第提供している。
2. 地元農産物を積極的に活用していることをPRし、毎月オリジナル料理も提案し、提供している。

8 現在地における今後の事業継続の意向確認。

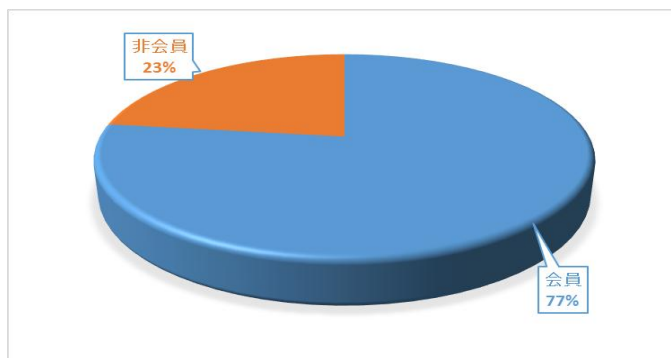
9割近い事業者が事業を継続する回答をしている。

継続しないと回答した5人の事業主はすべて後継者がいないと回答している事から、有効な後継者育成に向けての対策があれば事業は継続されられると思われる。



9 七日町まちなみ通り協議会の会員かどうか。

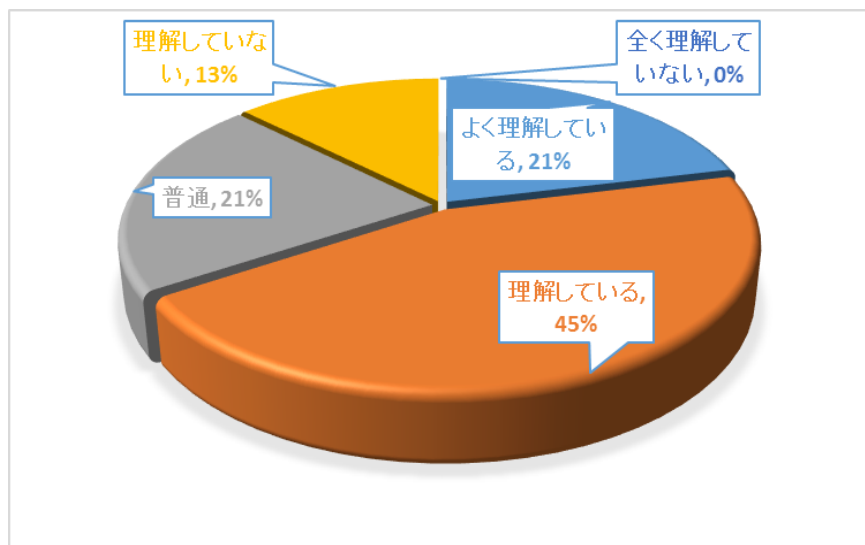
聞き取りをした事業者の約8割が同協議会の会員になっている。



10-1 協議会の活動の理解度について（会員のみ）

「よく理解している」、「理解している」で66%、「普通」が21%、「理解していない」が6件で13%になる。

「理解していない」の理由は、「入会したばかりなので活動内容がまだよくわからない」というものだった。



10-2 協議会への要望（会員のみ）

1. 街の将来に向けテーマをもったまちづくりを進めて欲しい。たとえば、業種の数に適正に調整する、チェーン店の規制などを考えて進めて欲しい。
2. 七日町市民広場でのイベントがあるが、ロックや太鼓は騒音がひどいので再考してほしい。
3. 年間の計画を前もって知らせてほしい。また、もっと情報をまめに流して欲しい。
4. 宣伝不足で、市内にイベント情報が周知されていないようだ。効果的な宣伝方法を考えていきたい。
5. 協議会の会合が夜だけだと飲食店なので参加できない。昼も実施して欲しい。
6. 「きものしゃなりウォーク」は七日町にぴったりのイベントだったので復活してほしい。
7. 観光客のみならず市民にも支持され来街したくなるようなまちづくりを推進してもらいたい。
8. そろそろオリジナルグッズの開拓に力を入れて欲しい。七日町も観光客、市民に周知されてきたので、今後は集客目的のイベントはあまりいらぬのではないか。
9. 会場だけではなく周辺の店の売り上げに寄与するようなイベントをやってほしい。

■ 七日町の取り組みへの評価

1 1 会津若松市による景観条例に基づく、まちなみ協定の締結

設問にある協定とは、平成7～8年に会津若松市において七日町通りを3ブロックに分け、景観条例に基づくまちなみ協定を締結したもの。締結により外観修景に対する事業費の半分、上限70万円の補助金の利用が可能となった。

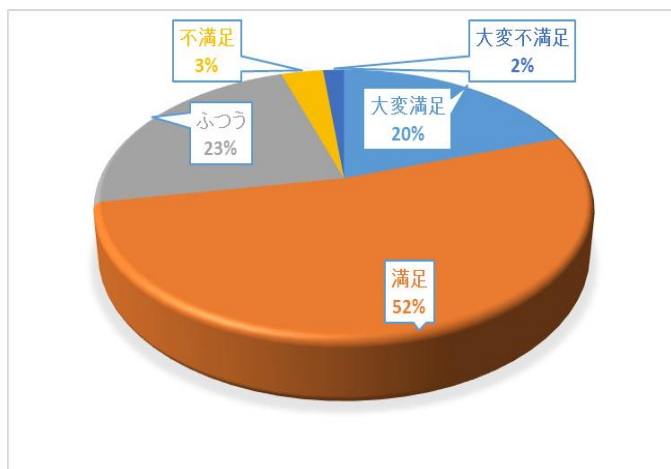
この協定に「大変満足」と「満足」という回答が7割を超える。

「大変満足」の回答者からは「レトロ調で統一的な景観が形成出来てきた」「修景後の空き店舗に入居し事業を展開している」という内容だった。

「満足」の回答者からは「景観条例および協定内容をもっとPRすればよいと思う」「補助金の増額はできないのか」「長年取り組んできたので観光客から支持されていると思う」「あいまいなところがあるので統一性に欠ける」という指摘もあった。

「ふつう」と回答した回答者からは「観光客から『実際に来てみたらそれほどでもなかった』と言われた。今後も努力が必要だ」「この制度を利用していない店があり、全体での盛り上がりには欠ける」「内容がよくわからない」という内容だった。

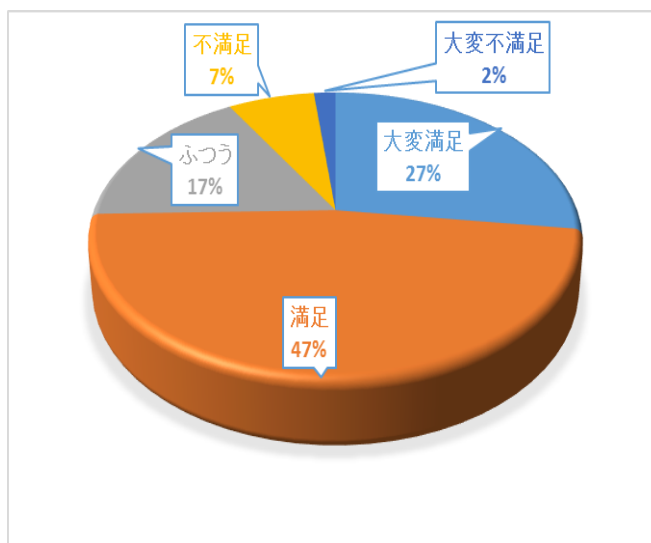
「不満足」と回答した人からは「店舗景観の改修を七日町通りでやっていない店もあり、全体での統一性に欠ける」「協定内容を厳しくして町全体の統一感をもたせる必要がある」という内容だった。61人中1人だけ「大変不満足」と回答したが、「当店の客は地元だけ。協定自体を知らない」というものだった。



1 2 大正浪漫調テーマとしての建物修景事業について

「大変満足」「満足」が74%を占めており、回答者からは「最近レベルも上がってきているが、初期に改修した店舗で自然素材を使用していないところがある。事業継続を期待したい」「自店も修景の実績があり、観光客利用が増えた」という回答だった。

「不満足」「大変不満足」と回答した事業主からは「説明がないと大正浪漫の概念がわかりにくい」「もっと努力が必要だ。観光客から七日町はこの程度の街並み景観ですかと聞かれることがある。まだまだ整備が足りないと思う」という内容だった。

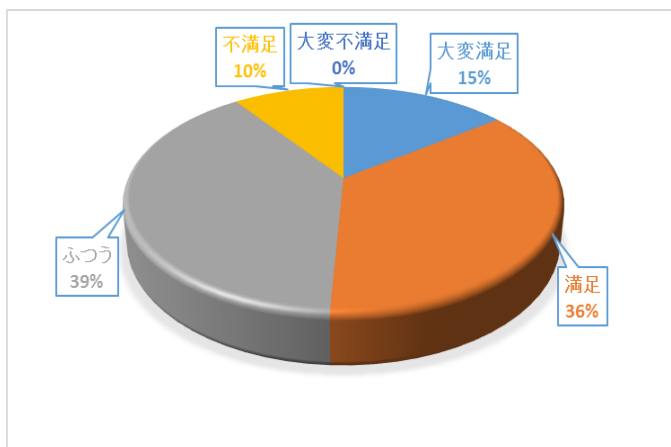


1 3 神社仏閣を巡る「幸せ回廊」事業について

「大変満足」「満足」が全体の51%となり、「大変不満足」の回答はなかった。

「大変満足」「満足」と回答した人からは、「『幸せ回廊』の情報を掲載した七日町パンフレットが非常に役立っている」「阿弥陀寺も以前に比べてきれいに整備されたので、この寺を中核にして進めてほしい。ほかの寺社整備も進展したらもっとすばらしくなると思う」という回答であった。

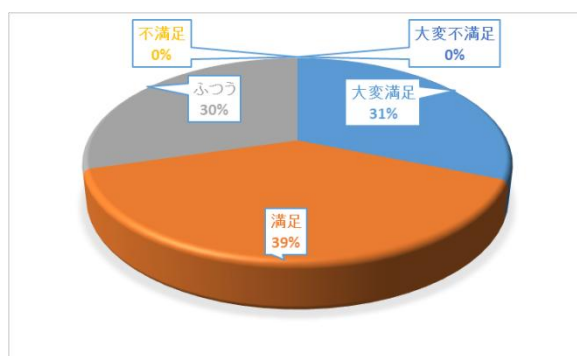
「普通」「不満足」と回答した人からは、「あまり認知されていないので、お客様に伝わっていない印象がある」「事業の内容そのものがよくわからない」「設置してある案内板をもっとわかりやすくした方がいい」などの内容だった。「普通」「不満足」の回答者は「『幸せ回廊』自体がよくわからない」という回答が多かったもので、内部の認知度を上げる取り組みが必要であると思われる。



1 4 七日町アンテナショップ「駅カフェ」について

「大変満足」「満足」の回答が7割を占めた。「不満足」「大変不満足」の回答はなかった。

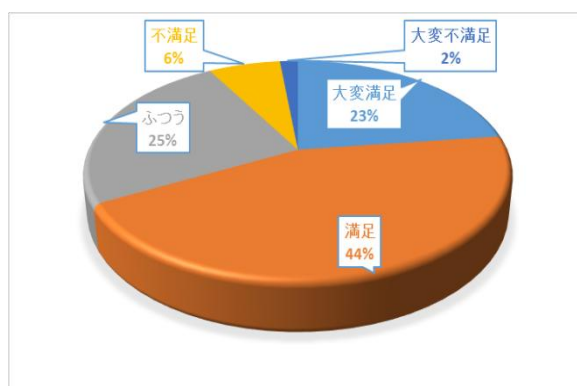
「大変満足」「満足」の回答者からは、「会津17市町村の名産品、物産をよく選んでおり、陳列のセンスもいい」「メディアによく取り上げられ、七日町のPRになる」という内容だった。「普通」と回答した人からは「行ったことがないので、普通以外に回答できない」というものがほとんどだった。



1 5 大正浪漫デッキの設置について

「大変満足」「満足」が67%を占め、「不満足」が4人、「大変不満足」が1人だった。

「大変満足」「満足」の回答者からは「お休み処として喜ばれている」「喫煙できるので吸い殻のポイ捨て防止になる」というものだった。「普通」の回答者からは「使ったことがないのでよくわからない」がほとんどだった。「不満足」の回答者からは「お休み処よりも公衆トイレの方がよかった」「下の区だけではなく、上の区、中の区にも作って欲しい」、「大変不満足」の回答者は「車の出入り口が狭くハンドルの切り返しが大変だ」と大正浪漫デッキの設置ではなく駐車場の構造についての苦情だった。

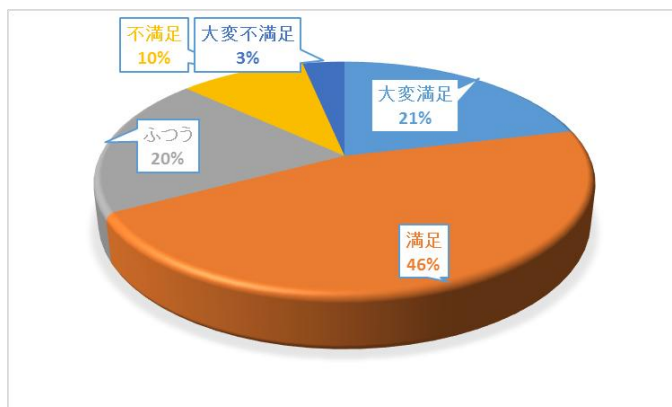


16 空き店舗対策について

「大変満足」「満足」が67%を占めた。

「大変満足」「満足」の回答者からは、「自店も補助対象になり修景することが出来た」「空き店舗に飲食店が入居し、自店への集客のきっかけになっている」「今後も対策を継続し、既存店にない業種、様々な業種に進出してもらいたい」などの回答があった。

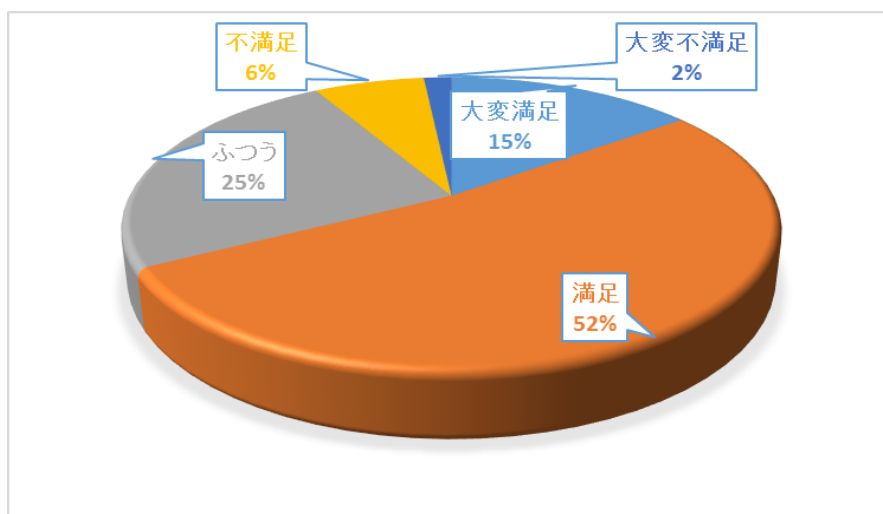
「不満足」「大変不満足」の回答者からは、「家賃補助（3年間）がなくなったときに撤退する心配がないだろうか」「対策そのものの情報が伝わっていない」という内容だった。



17 各種イベントについて

「大変満足」「満足」が67%を占めた。その回答者からは「売り上げに良い影響がある。担当者の意気込みが感じられる」「商店街が賑わう。七日町全体のPRにもなる」「若者が協力してやっている」という内容だった。回答は「満足」でも「イベントの情報がマチマチだ。実行委員会の仕組みがしっかりしていないのではないか」「イベントばかりに労力や経費を使うよりも、平常時に集客出来るような商店街づくりが重要だと思う」「イベントを目的化しない。その先の波及効果をみんなで話し合い検討することが大事だろう。かんしょ踊りと幸せ回廊（七福神寺社巡り行列）をコラボする。カウントダウンや除夜の鐘を大仏再建や御三階修復に結び付けられないか」という内容もあった。

「普通」「不満足」の回答者からは、「飲食店なので飲食を伴うイベントは営業妨害になる。時間帯を考えてほしい」「実行委員会の一部の人が楽しんでいるだけ。内輪受けとしか思えない」という回答があった。「大変不満足」は1人で「騒音がうるさく自店の雰囲気にもそぐわない。営業妨害」という内容だった。

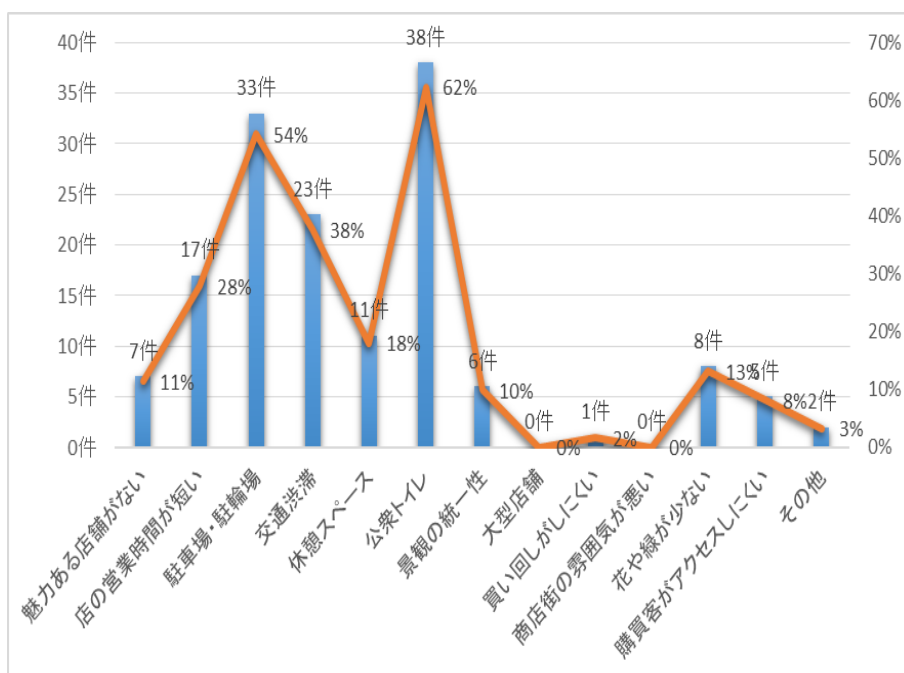


■ 七日町の現状

18 七日町の課題・問題点

公衆トイレが38件（62%）と最も多かった。回答者の中には「自店のトイレが公衆トイレのように使われている」という苦情もあり、早急に対処すべき課題・問題点だと思われる。

次に駐車場・駐輪場が続く。観光客も家族連れのほか、足腰の弱った高齢者同伴の観光はマイカーが必需品になるため、車いす、身障者対応、高齢者を優先させたトイレや駐車場整備は観光地のイメージアップにもなるため、早急に対応すべき問題点と思われる。

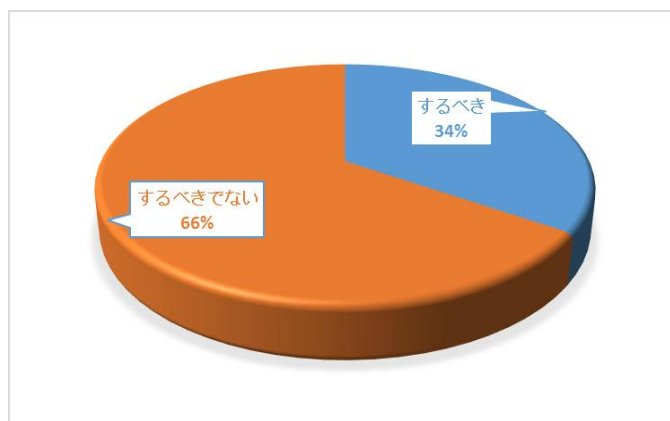


次は「店の営業時間」「休憩スペース」「花と緑が少ない」「魅力ある店舗がない」が続く。また、自由記入欄には「お客様から営業時間が短いという苦情が多い。土、日、祝日だけでも考えてほしい」「カフェ、喫茶店が少ない。休憩時間を設けている飲食店が多く、旅行者には不便だ。年末年始も営業出来るようにならないだろうか」「トイレが少ないので路地で用を足す旅行者が目立つ」「観光客から市内の観光案内表示に『七日町通り』の表示がないので七日町自体の場所がわかりにくいという指摘があった」という内容だった。

19 七日町通りを一方通行にすべきか

全体の66%（40人）の回答者が反対している。反対の理由は「一方通行になれば七日町通り自体が衰退するのではないか」「会津若松市内は一方通行が多すぎて観光客には不親切だと思う」という内容だった。

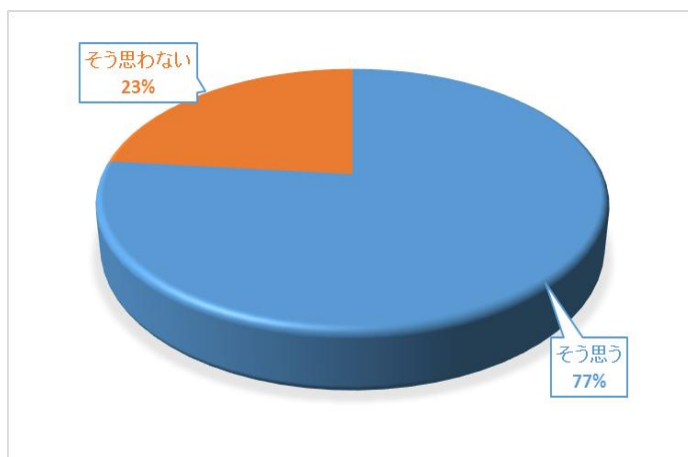
一方、賛成の理由として「渋滞解消と歩道拡幅で人にやさしいまちを目指す。その手段として一方通行が有効であればそうしたほうがよいと思う」「歩行者が安全でゆっくり散策できる通りを目指す。空いたスペースに植栽し自然豊かな通りにすべきだと思う」という内容だった。



20 七日町の渋滞解消にむけて、中合跡地を活かして道路拡幅すべき

賛成が77%を占めた。理由は「会津若松インターチェンジから連なるインター南部幹線と国道118号線を一体的に運用させたい。都市計画道路『高瀬東山線』のうち、旧中合に接する部分について交互通行できるように道路の拡幅を提言したい」「渋滞が解消できるのであれば賛成したい」という内容が多かった。

反対理由は「町全体が静まり返っている。賑わいを取り戻すためにも中合跡地には映画館、テナント、娯楽施設などを作った方がよいと思う」「七日町通りの渋滞は右折レーンがないため発生する。七日町で解決する問題なので中合跡地の道路拡幅とは関係ない。また、費用対効果からもコストパフォーマンスが悪いのではないか」という内容だった。

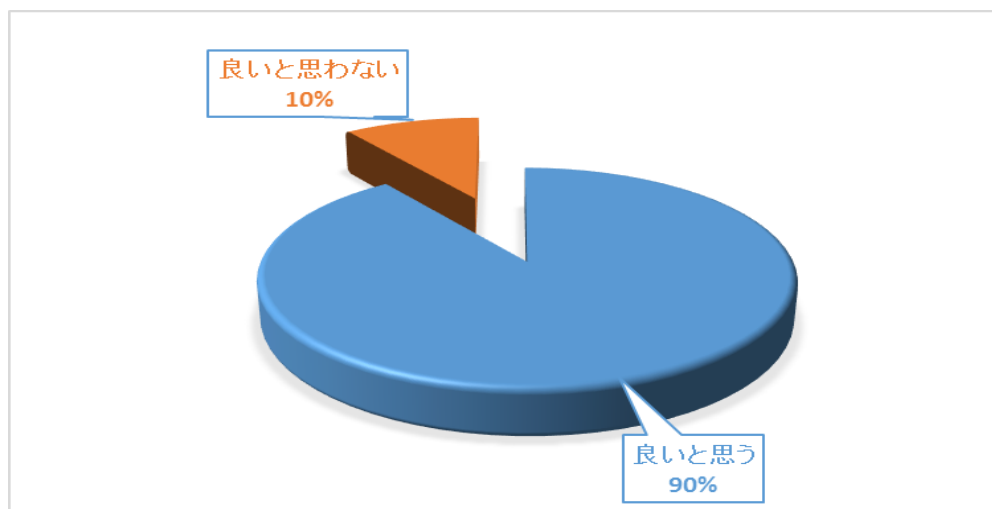


■ 門前町まちづくり構想

21 七日町の目指すべき方向性として、門前町まちづくり構想はどうか

調査対象の90%（55人）が構想に賛同している。賛同理由は、「『門前町』という言葉が耳に心地よい。ミニ浅草のようなイメージになればよいと思う」「阿弥陀寺など七日町にある寺社の整備が必要だ。行ってみたくなるようなアクセス方法、表示板、石畳の参道などを整備して賑わいを」「メインテーマとして大賛成。観光の目玉にも成り得る」「七日町に行ってみたくなる理由づけになると思う」「城下町らしさを醸すことができる」という回答だった。

反対理由は、「七日町には大きな寺院がないので意味がないのではないか」「七日町はお寺や神社に頼らず独自の商店街形成を目指すべきではないか」という内容だった。



2.2 整備してほしいエリアや方法について、具体的に教えて欲しい

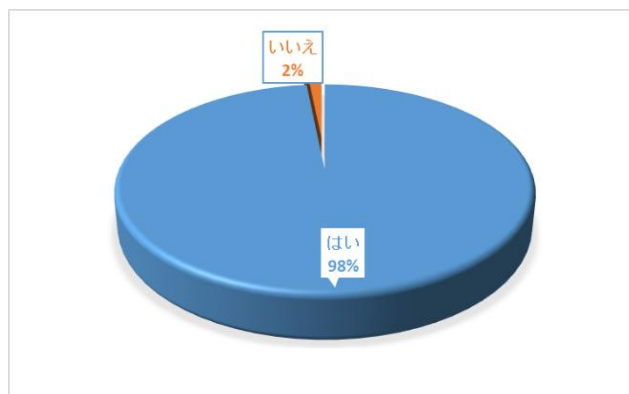
※重複する内容は除いた。

1. 市内全域になるが、車で来街する観光客にわかりやすい道路表示を増やして欲しい。設置場所も考えてほしい。
2. インター南部幹線が開通したので、七日町ローマン小路の一方通行を逆方向にしてみたい。
3. 景観に配慮し、通りに面した駐車場に生垣とか板塀などを張り巡らしてみてもどうか。
4. 中の区への駐車場などの整備をして欲しい。市民広場から桂林寺通りの歩道を融雪道路にできないだろうか。
5. 七日町から名所、駅までの所要時間の表示をどこかにして欲しい。(徒歩、バス、車、タクシー等利用方法別)。バス停の表示をもっとわかりやすくして欲しい。

2.3 商店街の振興策へ協力したいと思いますか

回答者61人中、60人が「はい」と回答している。

1人だけ「いいえ」と回答したが「現役を引退するので若い人をお願いしたい」という内容だった。



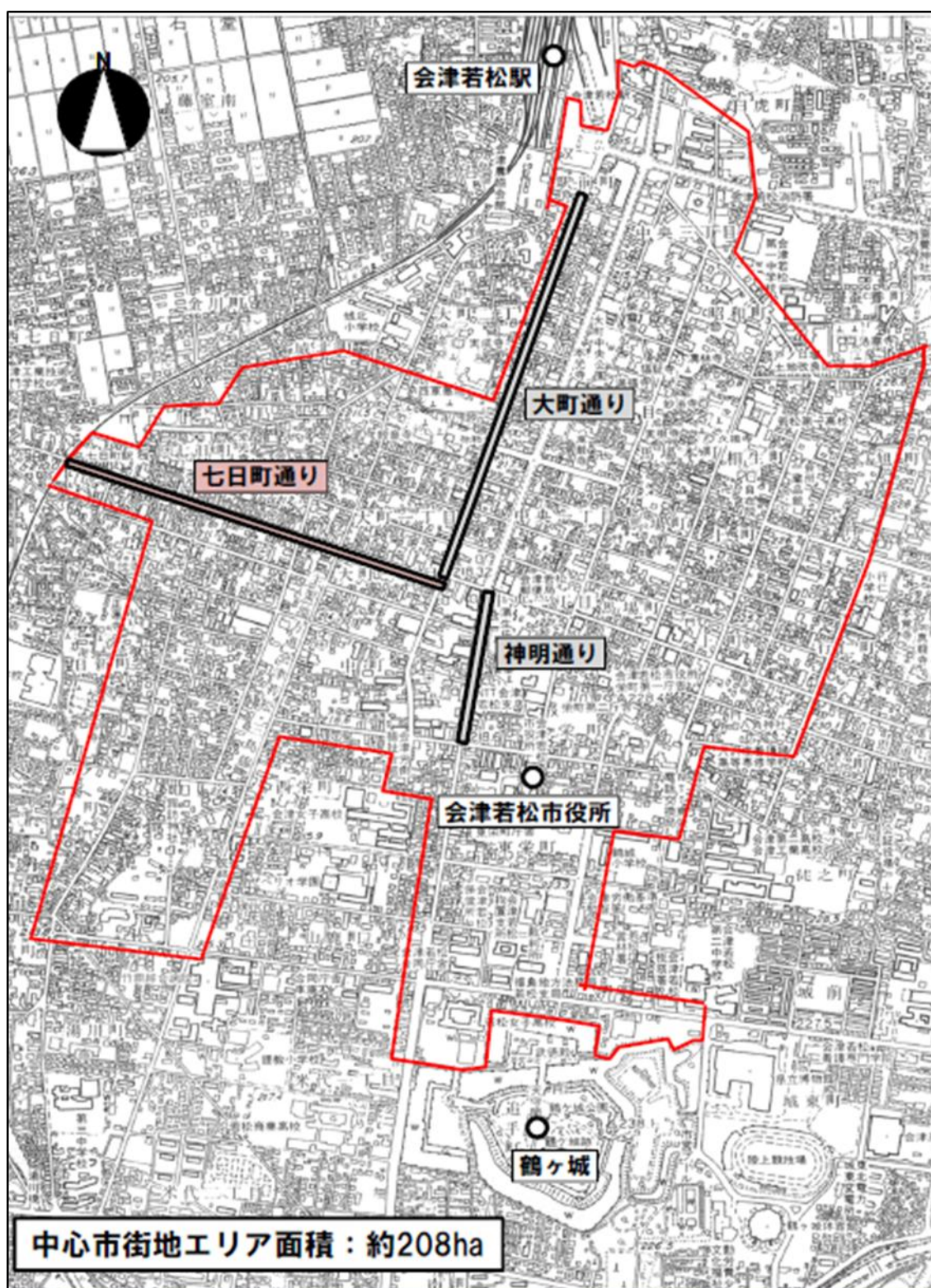
2.4 自由意見欄

1. 七日町通りの一方通行化による歩道拡幅で歩く人優先のまちづくりは喫緊の課題。今後も街並み景観を観光客の期待に応えるようにしていきたい。
2. 通り全体とした統一的なオブジェかフラッグ、ペナント、プレートなどが必要ではないか。
3. 中心市街地においては、空洞、高齢化が進み雪害や水害対応が非常に困難な状況に陥っている。融雪溝のグレーチングが開閉しやすくなるよう取手付のものを普及させ、豪雪先進自治体が行っているようなアルミ製のグレーチングへの改良を提言する。
4. 七日町で営業しているお店の店員は時代衣装を身にまとい対応してはどうだろうか。
5. 七日町オリジナルのアイキャッチャー、ロゴマーク、マスコットを作成したらどうか。
6. 公衆トイレの整備を優先的に取り組んでほしい。会津弁を使うなどで会津らしさをアピールしていきたい。観光客に対してもマナーを守るような啓発活動にも取り組みたい(「ならぬものはならぬ」の徹底化)

7. 七日町通りにも会津まつりの藩公行列を導入してもらいたい。
8. 観光客が閑散期になる冬季にイベント、行事ごとを行うなど対策を考えてほしい。たとえば七日町でも十日市を開く。市民だけでなく観光客も楽しめる催しを企画、実行していく。
9. 景観のよい洋風建物ビルが建設会社の事務所機能になっている。事務所部分を工夫しスペースを確保して美術館など文化的な施設に利用したら七日町の付加価値がさらに高まると思う。
10. 七日町通りに飲食店が増えてきた。飲食店同士で個店のレベルアップのため話し合いの場を作っていきたい。
11. 七日町通りの回遊性を今まで以上に高める活動を考えていきたい。
12. 食べ物からまちづくりが出来ないか。七日町から発信できるようなオリジナル商品や食べ物を開発していきたい。
13. 観光客から駐車場をよく聞かれるが、わかりやすいところがない。今後も整備が必要だと思う。

以上、重複内容は除いて掲載。

会津若松市の中心市街地



あなたの声をお聞かせください。

「会津若松市の魅力向上に関するアンケート調査」

平成 25 年 10 月

常日頃より、株式会社まちづくり会津の取り組みについて、ご理解・ご協力いただき、ありがとうございます。

当社は、会津若松市や商工会議所、商工関係者が出資して設立された第三セクター会社であり、地域の活性化に向けた様々な取り組みを行っている会社です。

本アンケートは、七日町通りをはじめ、まちなかの現状や問題点、今後の整備のあり方などについてお伺いし、今後のまちづくりの参考とするために実施させていただきます。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

株式会社まちづくり会津

■ご回答方法について

ご回答にあたっては、それぞれの設問に従い、選択肢に○印をつけてください。

自由記入欄については、ご回答の記載をお願いします。

■ご回答結果の取り扱い

無記名方式ですので、お名前や個人情報を公表することはありません。ご回答内容は統計的な処理を行い、今後のまちづくりの基礎資料としてのみ活用させていただきます。

■ご回答およびご返送の期限

ご回答いただいた本アンケート回答票は、平成 25 年 11 月末日までに同封の返信用封筒に入れ、ご投函をお願い申し上げます。＜切手は不要です＞

■調査体制

事業主体：株式会社まちづくり会津

協力団体：会津若松市観光商工部商工課、株式会社野村総合研究所

【問い合わせ先】 株式会社まちづくり会津

〒965-0816 会津若松市南千石町 6-5（会津若松商工会議所会館 1 階）

ホームページ：<http://www.aizu.ne.jp/tmo/index.php>

メールアドレス：tmoaizu@rose.ocn.ne.jp

電 話：0242-38-2822

FAX：0242-38-2833

※この事業は経済産業省「平成 24 年度中心市街地魅力発掘・創造支援事業費補助金」を活用しています。

次ページから、アンケートにご回答をお願いします。所要時間は約 20 分になります。

なお、設問中にまちなか（中心市街地）や七日町のエリア、中合跡地などが出てくる場合には、当ページの図を参考にさせていただきますよう、お願い申し上げます。

図 1：本アンケートにおける、会津のまちなか（中心市街地）と各エリア



1. 会津若松市のまちなかについてお伺いします。

問 1

会津若松市のまちなか活性化（※図 1 参照）において、重点的に整備すべきエリアはどこだと思いますか？
＜3 つまで○印＞

- ①大町通りエリア ②中央通りエリア ③神明通りエリア
④七日町通りエリア ⑤市役所通りエリア ⑥北出丸大通りエリア
⑦野口英世青春通りエリア ⑧会津ふれあい通りエリア ⑨本町通りエリア
⑩その他（具体的に「.....」、または図 1 に書き込む）

問 2

会津若松市のまちなか（中合跡地も含む）について、どのような機能や施設の整備を期待しますか？
＜3 つまで○印＞

- ①公園・広場 ②医療機能 ③マンション・住宅 ④コンベンション機能※
⑤芸術・文化機能 ⑥教育機能 ⑦スポーツ機能 ⑧商業・飲食機能
⑨ホテル・宿泊機能 ⑩駐車場 ⑪一部道路拡幅 ⑫行政機能
⑬その他（具体的に「.....」）
※コンベンション機能とは、会議・展示会・イベントを行える機能を意味します。

2. 会津の魅力についてお伺いします。

問 3

会津は、京都・奈良・鎌倉・平泉と並んで日本五大仏都の 1 つに数えられるということをご存知ですか？
＜1 つに○印＞

- ①知っている ②知らない

問 4

会津には、平安初期に創建の寺や仏像が数多く残っていますが、そのような神社仏閣を新たなまちづくりに活かすべきだと思いますか？
＜1 つに○印＞

- ①もっと活かすべき ②神社にお参りする人に配慮して活かすべき
③まちづくりに活かす必要はない ④わからない

問 5

会津若松市のまちなか（※図 1 参照）で、魅力を感じる神社仏閣があれば、具体的に教えてください。
＜いくつでも＞

.....
.....

3. 七日町の認識についてお伺いします。

ここからは、会津若松市七日町通りエリア（※図1参照）について、お伺いします。

問6

この1年間の中で、どのくらいの頻度で七日町エリアへ行きましたか？

<1つに○印>

- ①毎日 ②週に1～2度 ③2週に1～2度 ④月に1～2度
⑤ほとんど行かない

問7

七日町を訪れる主な目的は何ですか？

<1つに○印>

- ①買い物 ②公共サービス ③飲食 ④通勤・通学
⑤通院 ⑥理容・美容 ⑦スポーツ・習い事 ⑧娯楽
⑨その他（具体的に「.....」）

問8

七日町への主な交通手段は何ですか？

<1つに○印>

- ①車 ②バス ③鉄道 ④バイク・原付 ⑤自転車 ⑥徒歩
⑦タクシー ⑧その他（具体的に「.....」）

問9

七日町の魅力だと感じるものは何ですか？

<3つまで○印>

- ①景観が整っている ②神社仏閣がある ③魅力的なお店がある
④交通の便が良い ⑤交流・情報が得られる ⑥公共サービスの充実
⑦昔から顔なじみである ⑧買い回りがしやすい ⑨商店街の雰囲気が良い
⑩ウインドショッピングができる ⑪イベントがある ⑫文化的な教室がある
⑬駐車場・駐輪場がある ⑭その他（具体的に「.....」）

問10

七日町の課題点や問題点だと感じるものは何ですか？

<3つまで○印>

- ①魅力あるお店がない ②お店の営業時間が短い ③駐車場・駐輪場がない
④休憩スペースが少ない ⑤公衆トイレがない ⑥景観の統一性がない
⑦大型店舗がない ⑧自宅や勤務先から遠い ⑨商店街の雰囲気が悪い
⑩花や緑が少ない ⑪交通渋滞が多い ⑫買い回りがしにくい
⑬お店の接客態度が悪い ⑭道幅や電柱による歩きにくさ
⑮その他（具体的に「.....」）

4. おおむね 5 年前と比較した、現在の七日町の評価についてお伺いします。

七日町通りの主な取り組みをご参考に、その評価について教えてください。

■七日町通りの主な取り組み

- ・会津若松市による景観条例にもとづく、まちなみ協定の締結。
- ・大正浪漫調のまちづくりをテーマとした、建物修景事業の推進。
- ・神社仏閣をめぐる「幸せ回廊」事業（スタンプラリー）の推進。
- ・七日町駅にアンテナショップ「駅カフェ」を開店。
- ・駐車場機能を有した滞留拠点「七日町浪漫デッキ」の設置。

問 11 景観（まちなみ）の整備による七日町の印象の変化について、どのように感じていますか？
<1 つに○印>

- ①良くなった ②変わらない ③悪くなった ④わからない

問 12 にぎわい・活気づくりのための商店街の店舗構成（お店の充実度）の変化について、どのように感じていますか？
<1 つに○印>

- ①良くなった ②変わらない ③悪くなった ④わからない



③の方のみ

問 12-2

“③悪くなった”と答えた方へ質問です。具体的な理由を教えてください。

.....
.....
.....

問 13 七日町の取り組みは、会津若松市のまちなか活性化に貢献していると思いますか？
<1 つに○印>

- ① 思う ②思わない ③わからない

5. 七日町の将来像や今後の方針についてお伺いします。

ここからは、以下の七日町門前町まちづくり構想についてお伺いします。

■七日町通りまちなみ協議会の構想

七日町通り周辺には、東軍墓地や御三階、清水屋旅館跡、野口英世ゆかりの場所など多くの歴史的資源があります。

また、かつて大仏が鎮座し、会津戊辰戦争で戦死した東軍兵士を埋葬した阿弥陀寺、めぐりあい観音の常光寺、商売繁盛の田中稲荷神社など、お寺や神社が点在しています。

これらの、歴史と資源を活かした門前町にぎわい空間をつくりだすことが“七日町の門前町まちづくり構想”です。

問 14 “七日町の門前町まちづくり構想”について、どのように思いますか？

<1 つに○印>

①良いと思う

②悪いと思う



②の方のみ

問 14-2

“②悪いと思う”と答えた方に質問です。具体的なアイデア・意見があれば教えてください。

.....
.....

問 15

七日町の整備事業において、どのようなものを重要視するべきだと思いますか？

<3 つまで○印>

①道路やまちなみ整備

②植木・植栽

③市民の憩いの空間

④イベントなどのソフト事業

⑤魅力的な店舗

⑥駐車場・駐輪場

⑦バリアフリーに配慮した歩道

⑧歴史資源案内・情報発信

⑨周辺エリアとの連携

⑩娯楽施設

⑪子供の遊び場

⑫高齢者向け施設

⑬その他（具体的に「.....」）

問 16

七日町エリアの整備事業において、涙橋やキリシタン塚、中野竹子殉節碑などがある西に対象エリア（※図1参照）を拡大するべきだと思いますか？

<1 つに○印>

①そう思う

②そうは思わない

問 17

七日町エリアのまちづくりについて、ご意見等ありましたらご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

6. 最後に、あなた自身のことについてお伺いします。

問 18

あなたの性別は？

- ①男性 ②女性

問 19

あなたの年齢は？

- ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上

問 20

あなたが住まいのエリアはどこですか？ <郵便番号、または町・丁を記入>

記入例： 9 6 5 - 0 8 3 7 または 会津若松市 錦町

①郵便番号 - または ②会津若松市

～アンケートは以上です。ご協力、大変ありがとうございました。～

このアンケート用紙を返信用封筒へ入れて、11月末日までに送付してください。

集計結果は、後日ホームページで公開いたします。

観光客向けヒアリングシート

整理番号：()

調査日：平成 年 月 日 ()

調査員：()

■ I. ご自身についてお伺いします。

問 1 : どこから来られましたか。

- ①県内 ②北海道 ③東北 ④関東 ⑤関西 ⑥東海 ⑦中部・北陸
⑧中国・四国 ⑨九州・沖縄 ⑩海外

問 2 : あなたの性別は。

- ①男性 ②女性

問 3 : あなたの年齢は。

- ①19歳以下 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上

■ II. 旅行全般についてです。

問 4 : 会津への訪問回数は。

- ①初めて ②2回目 ③3回目 ④4回目 ⑤5回以上

問 5 : 誰と一緒に来ましたか。

- ①ひとり ②家族 ③恋人 ④友人・知人
⑤職場の同僚 ⑥学校行事 ⑦一般募集团体 ⑧地域グループ ⑨同窓会・サークル

問 6-1 : 訪問予定地と交通手段についてです。

1 会津までどのような交通手段で来られましたか？ ()

2 お帰りの交通手段は？ ()

【交通機関】

- ①マイカー ②新幹線 ③在来線 ④レンタカー ⑤貸切バス
⑥高速バス ⑦路線バス ⑧タクシー ⑨飛行機 ⑩バイク ⑪その他

その他についてお願いします。

問 6-2 I : どちらを訪問しましたか。(ご予定を含む)

- ①鶴ヶ城 ②飯盛山 ③御薬園 ④会津武家屋敷 ⑤日新館 ⑥大河ドラマ館
⑦裏磐梯 ⑧喜多方市 ⑨日光 ⑩那須 ⑪その他

II. その他行かれた(ご予定を含む)ところを具体的にお願いします。

--

問 7 : 旅程(滞在日数)です。

- ①日帰り ②1泊2日 ③2泊3日 ④3泊4日 ⑤4泊以上

問 8 : 宿泊したところについてです。

- I. ①日帰り ②ビジネスホテル ③旅館 ④民宿・ペンション ⑤保養所・研修所
⑥知人宅 ⑦キャンプ場 ⑧車中泊 ⑨別荘 ⑩ユースホステル
⑪その他(具体的に_____)

II. 宿泊した場所は。

--

問 9 : 旅行全体の予算を教えてください。

- I. ①~5,000円 ②5,000円~10,000円 ③10,000円~15,000円
④15,000円~20,000円 ⑤20,000円~25,000円 ⑥25,000円~30,000円
⑦30,000円~35,000円 ⑧35,000円~40,000円 ⑨40,000円~45,000円
⑩45,000円以上(具体的に約_____円)

II. 具体的には。

交通費(_____円)
宿泊費(_____円)
土産代(_____円)
飲食費(_____円)
入場料(_____円)
パック料金(_____円)
その他(_____円)

問 10-1 : お土産を買う相手はどなたですか。

- ①家族 ②自分 ③会社関係 ④親戚 ⑤隣人 ⑥恋人 ⑦友人
⑧その他ありましたら具体的にお願いします。

--

問 10-2 : 買う予定のお土産品をお願いします。

- I. ①漆器 ②お酒 ③民芸品 ④お菓子 ⑤味噌 ⑥絵ろうそく
⑦会津木綿 ⑧その他（具体的なジャンル_____）

II. その他ありましたらお願いします。

問 11 : 会津で食べたいものを教えてください。

- I. ①こづゆ ②さくら鍋・刺し ③会津地鶏 ④にしんの山椒づけ ⑤味噌田楽
⑥しんごろう ⑦ラーメン ⑧ソースかつ丼 ⑨そば ⑩あげ饅頭
⑪地酒 ⑫はっとう ⑬鯉の甘煮 ⑭ざくざく ⑮その他

II. その他ありましたらお願いします。

問 12 : 観光案内・情報サービスの満足度です。

- I. ①大変満足 ②満足 ③ふつう ④不満足 ⑤大変不満足 ⑥その他

II. その他ありましたらお願いします。

■七日町についてです。

問 13 : 七日町を旅先に選んだきっかけは。

- I. ①TV ②一般雑誌 ③インターネット ④旅行雑誌 ⑤旅行パンフレット
⑥ポスター ⑦口コミ ⑧リピーター ⑨なんとなく ⑩その他

II. その他がありましたらお願いします。

問 14 : 七日町の訪問目的（お目当て）は。

- I. ①まちなみ鑑賞・散策 ②買い物 ③神社仏閣 ④グルメ ⑤イベント ⑥その他

II. その他がありましたらお願いします。

問 15 : 七日町での滞在（消費）時間は。

- ①～30 分 ②30 分～60 分 ③60 分～90 分 ④90 分～120 分
⑤120 分～150 分 ⑥150 分～180 分 ⑦180 分～210 分 ⑧210 分以上（_____分）

問 16 : 七日町の満足度は。

- I. ①大変満足 ②満足 ③ふつう ④不満足 ⑤大変不満足 ⑥その他
II. その他ありましたらお願いします。

問 17 : 七日町の魅力は。

- I. ①景観が整っている ②神社仏閣がある ③魅力的なお店 ④交通の便が良い
⑤交流・情報が得られる ⑥買い回りし易い ⑦雰囲気が良い ⑧ウインドウショッピング
⑨イベントがある ⑩駐車場・駐輪場 ⑪その他
II. その他ありましたらお願いします。

問 18 : 七日町の課題点があれば教えてください。

- I. ①魅力的な店舗 ②お店の営業時間 ③駐車場・駐輪場 ④交通渋滞
⑤休憩スペース ⑥公衆トイレ ⑦景観の統一性 ⑧大型店舗
⑨専門店が少ない ⑩雰囲気が悪い ⑪緑や花が少ない ⑫その他
II. その他何かあれば教えてください。

■七日町の「門前町まちづくり構想」について（七日町通りまちなみ協議会の構想）

七日町通り周辺には、かつて大仏が鎮座し、会津戊辰戦争で戦死した東軍兵士を埋葬した阿弥陀寺、めぐりあい観音の常光寺、商売繁盛の田中稻荷神社などお寺や神社が点在しています。

また、明治3年に本丸にあった鶴ヶ城御三階は阿弥陀寺にうつされ仮本堂として使用されました。阿弥陀寺には、戊辰戦争戦死者が埋葬されており、斉藤一の墓、萱野権兵衛遥拝碑のほか、七日町通り周辺には野口英世ゆかりの場所など多くの歴史的資源があります。

これらの、歴史と資源を活かした門前町にぎわい空間をつくりだすことが“七日町の門前町まちづくり構想”です。

問 19 : 上記の「七日町の門前町まちづくり構想」についてどう思いますか。

I. ①いいと思う ②悪いと思う ③わからない ④その他

II. その他がありましたらお願いします。

問 20 : より魅力的なまちにするために重要視すべきだと思いますか。

I. ①道路・まちなみ整備 ②植栽・植木 ③住民との交流空間 ④イベント
⑤店舗整備 ⑥駐車場・駐輪場 ⑦バリアフリー ⑧情報発信
⑨周辺エリアとの連携 ⑩観光案内所 ⑪おもてなしの精神 ⑫その他

II. その他がありましたらお願いします。

■その他

問 21 : また七日町を訪問したいですか。

I. ①はい ②いいえ ③その他

II. その他がありましたらお願いします。

問 22 : 七日町を友人に紹介したいですか。

I. ①はい ②いいえ ③その他

II. その他がありましたらお願いします。

問 23 : 何かお気づきのことがあれば自由にお答えください。

事業者向けヒアリングシート

整理番号：()

調査日：平成 年 月 日 ()

調査員：()

■属性

問1：業種

チェック：

	大分類	小分類
小売業	1.各種商品小売業	コンビニエンスストア、生協
	2.織物・衣類・身の回り品小売	呉服店、服地店、寝具店、総合衣料品店、紳士服店、婦人服店、子供服店、用品・小間物店、靴・履物店、鞆・ハンドバッグ店
	3.飲食料品小売業	食品スーパー、一般食料品店、酒小売業、野菜・果実店、精肉店、鮮魚店、茶・海苔店、豆腐店、菓子・パン店、米穀店、持ち帰りすし・弁当店、惣菜店
	4.自動車・自転車小売	自動車小売業、自転車小売業
	5.家具・什器・家庭用機械器具小売	家具・インテリア店、経師・畳店、家庭用品店、陶磁器・ガラス店、家電店
	6.その他小売業	医薬品小売業、化粧品小売業、ガソリンスタンド、本・書籍店、文房具店、スポーツ用品店、レコード楽器店、時計・眼鏡店、玩具店、タバコ店、花・植木店、100円ショップ
飲食業	7.一般飲食店	一般食堂、日本料理店、西洋料理店、中華料理店、そば・うどん店、焼肉店、すし店、ファーストフード店、喫茶店
	8.その他飲食店	居酒屋、バー・キャバレー
サービス業	9.家庭向けサービス業	理容業、美容業、銭湯、クリーニング店、カメラ・DPE店、衣服縫製修理業
	10.娯楽業	劇場・映画館、パチンコ、ゲームセンター
	11.その他サービス業	リース・レンタル業、旅館・ホテル業、有料駐車場、自動車整備業、委員・病院
その他	12.その他	金融機関、不動産業、その他()

問2：営業年数

チェック：①～4年 ②5～9年 ③10～14年 ④15～19年 ⑤20～24年 ⑥25年以上

問3：経営者の年齢層

チェック：①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上

問4：土地・建物の所有関係

チェック：土地（あり ・ なし） 建物（あり ・ なし）

問 5 : 売り上げの内訳

詳細記入 : (市民 : 観光客) = (_____ : _____)

問 6 : 売上高の推移 (現在を 100 として比較)

記入 : (10 年前 = _____) ⇒ (5 年前 = _____) ⇒ (震災直後 = _____) ⇒ (現在 = 100)

問 7 : 業績の維持・向上に向けて、個店として努力していること

- I. チェック : ①勉強会・研修への参加 ②ホームページの作成 ③SNS (フェイスブックなど) の活用
 ④イベントの企画 ⑤チラシ・広告 ⑥独自商品の企画・開発
 ⑦その他

II. 詳細記入 : (具体的に)

問 8 : 現在地における今後の事業継続の意向確認

- I. チェック : ①継続する ②継続しない ③未定

II. 詳細記入 : (継続しない人へその理由、建物の利用方法)

問 9 : 七日町まちなみ通り協議会の会員かどうか

チェック : ①会員 ②非会員

★会員の方のみへ質問

問 10 : 協議会に入会したきっかけ・理由

詳細記入 : (具体的に)

問 10-2 : 協議会の活動の理解度について

I. チェック : ①よく理解している ②理解している ③普通 ④理解していない ⑤全く理解していない

II. 詳細記入 : (補足)

問 10-3 : 協議会への要望

詳細記入 : (具体的に)

★非会員の方のみへ質問

問 10 : 協議会に入会しない理由

詳細記入 : (具体的に)

問 10-2 : 協議会の活動の理解度について

I. チェック : ①よく理解している ②理解している ③普通 ④理解していない ⑤全く理解していない

II. 詳細記入 : (補足)

問 10-3 : 協議会への入会の意思

I. チェック : ①入会したい ②入会したくない

II. 詳細記入 : (理由)

■七日町の取り組みの評価

問 11 : 会津若松市による景観条例にもとづく、まちなみ協定の締結

I. チェック : ①大変満足 ②満足 ③ふつう ④不満足 ⑤大変不満足

II. 詳細記入 : (補足)

問 12 : 大正浪漫調テーマとして、建物修景事業について

I. チェック : ①大変満足 ②満足 ③ふつう ④不満足 ⑤大変不満足

II. 詳細記入 : (補足)

問 13 : 神社仏閣を巡る「幸せ回廊」事業について

I. チェック : ①大変満足 ②満足 ③ふつう ④不満足 ⑤大変不満足

II. 詳細記入 : (補足)

問 14 : 七日町アンテナショップ「駅カフェ」について

I. チェック : ①大変満足 ②満足 ③ふつう ④不満足 ⑤大変不満足

II. 詳細記入 : (補足)

問 15 : 大正浪漫デッキの設置について

I. チェック : ①大変満足 ②満足 ③ふつう ④不満足 ⑤大変不満足

II. 詳細記入 : (補足)

問 16 : 空き店舗対策について

I. チェック : ①大変満足 ②満足 ③ふつう ④不満足 ⑤大変不満足

II. 詳細記入 : (補足)

問 17 : 各種イベントについて

I. チェック : ①大変満足 ②満足 ③ふつう ④不満足 ⑤大変不満足

II. 詳細記入 : (補足)

■七日町の現状について

問 18 : 七日町の課題・問題点について

- I. チェック : ①魅力ある店舗がない ②店の営業時間が短い ③駐車場・駐輪場
④交通渋滞 ⑤休憩スペース ⑥公衆トイレ
⑦景観の統一性 ⑧大型店舗 ⑨買い回りがしにくい
⑩商店街の雰囲気が悪い ⑪花や緑が少ない ⑫購買客がアクセスしにくい
⑬その他

II. 詳細記入 : (具体的に)

問 19 : 七日町通りを一方通行にするべきか

- I. チェック : ①するべき ②するべきでない

II. 詳細記入 : (理由)

問 20 : 七日町の渋滞解消にむけて、中合跡地を活かして道路拡幅するべき

- I. チェック : ①そう思う ②そう思わない

II. 詳細記入 : (そう思わない人へ、具体的な利用案を聞く)

■門前町まちづくり構想について

問 21 : 七日町の目指すべき方向性として、門前町まちづくり構想はどうか

I. チェック : ①良いと思う ②悪いと思う

II. 詳細記入 : (理由・アイデア)

問 22 : 整備してほしいエリアや方法について、具体的に教えてください

記入 :

問 23 : 商店街の振興策へ協力したいと思いますか

I. チェック : ①はい ②いいえ

II. 詳細記入 : (理由。やりたいこと、懸念されるハードルなども)

問 24 : 自由意見欄

ご協力誠に有難う御座いました。

会津若松市中心市街地魅力向上調査事業

平成26年3月発行

株式会社 まちづくり会津

〒965-0816 会津若松市南千石町 6-5

TEL0242-38-2822